



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

自分は、太陽が上空600mのところまで近づいてきたという表現が印象に残ると同時にとても驚きました。今、日常生活で普通に過ごしているだけで暑いのに、その何倍もの熱さの風が吹いてくると思うととても怖いです。

改めて、今自由に楽しく過ごしていることに感謝したいし、戦争が起きない平和な今がずっと続くといいなと感じました。

戦争のことを深く知ることができた、とてもおもしろい時間でした。

原爆の怖いところは、原爆が落とされたときの熱風や爆炎もそうだけど、その後の放射線などの影響もあるということだと思います。放射線は目に見えないから怖いし、放射線によって善い子と悪い子と聞いたことがあります。絶対に善い子と悪い子と区別できないと思います。たし、今後、自分たちが守られたとしても、後世に伝えていかないと、木は枯れ、水は干涸び、と感している時間になりそうです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、始め原爆の事をなにも知りませんでした。だけどおじさんの話を聞いて 2しゅういのベツベツの原爆が日本におとされた。

アメリカもおとした場所におしるよう練習して いたことを聞いて、みんなくろくしてるんだなと 思いました。

僕が一番心にたっているのは、義三さんが やけた人のむけいを見て「きれいすぎる」と言ったところ です。あのむけいでさえもよくかたのにはきれいもあつた、 すがたの人がいたと知ると おそろしいところの さわぎではないと思われました。

もう戦争がまじなるとき ながうばかりです。 99分、僕がもしなになるころには、戦争 のことをかたる人がいないと思うの で少しでもお話を話して、つた えていければいいなと思いました。 これからは平和に生きていくことに かんして せんを行なうと思いま した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

昨日の、原爆先生の話を聞いて、
自分から知らない原爆のことを知る
ことが出来た。

最初、大きな声にびっくりしました。

その後被害を受けた人の事をわかりやすく
教えてくれました。

被害を受けた、広島・長崎の写真を
みせてくれました。そして田舎には

壊れかたは、そんな所をみれば、本当に

原爆は恐ろしいことがわかりました。

表現が、とても、丁寧なもので、自分から

原爆は、いろいろな人が、話を

してくれました。

自分も、講話を聞かせて

返事をくれたことには、わがた

は、感謝しています。

この講話を通じて、もっと、原爆の

ことを、知ることが出来たことに

感謝しています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の講話で原子爆弾についてくわしく
知ることができました。今まで被爆者の家族の話や
自分なりに調べて学習していたけど、原子爆弾のくわ
しい仕組み、投下地の条件、候補になった都市など、
いろいろのことを知れました。

広島と長崎は天気が良かったという理由で原爆投下
地に選んだということに驚きました。あるいは投下
地は選んでいたのに最終的に決めた理由が天
候だったことに複雑な気持ちになりました。

だけど京都にはたくさん文化財があるという理由
で投下地にはしなかったり、いろいろ考えられて下さ
れたんだなと思いました。

講話の中で原爆が下される時の真似だけでも
怖かった。なので本物は想像以上なんでしょうかと
怖くなりました。当時の人も本当に怖かったと思っ
ます。最後のビデオで「人間とは思えない姿」というと
ころでも悲惨だと思いました。

私はこれから、自分だけが元気なことに感謝するの
ではなく、家族や友達も普通に生活していることに感謝し



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の特別授業を受講することができて、本当に良かったと思います。正直、どの講話を聴いても、原爆がどのようにおそろしく、どんな被害を、影響を与えたのか、あまいまはものが多く、私自身もあまいまはまの知識をつけ、原爆について詳しく知ることができませんでした。しかし、今回の原爆先生の授業では、「音」で感じるものがあまりました。「ドーン ドーン」と爆撃の音を受けながら先生が実際に再現してくださり、その時の様子を実際に感じる事ができました。もちろん、現実には、私には何が考えられている何倍もおそろしいものだったと思います。

今、私には何が何の不自由もはやくらしめられているのは、過去の人達からすれば、幸せに感じ、憧れるものであったと思います。だからこそ、今できることを当たり前と思わず、自分の生き方を見直していきます。私には今できることは、「勉強」「家族を大切にすること」「友達を大切にすること」... まだまだあります。しつどで絶対にやるのか分からず、だから今を大事に生きていきたいです。過去に生きる人達が憧れていたにせよ、今の環境を「当たり前」にした方がいいです。食べれば「当たり前」。家族がいて「当たり前」。みんな「当たり前」が、過去に生きる人からすれば、それがいいことを心に刻み、今を生きていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

お話を聞いてみると驚いたことは原爆を投下するための条件があつたこと、候補になつた都市は広島と長崎だけではないこと、投下する
ための条件の中に直撃と爆を避けること書いてあるからアメリはそれほど
大規模被害を「避ける」ことに慎重だった。候補になつた都市は
京都が入。2015年「人間」と「人尊厳文化財」であり、日本人の感情
を傷つけないことから、日本人に重要な文化財や昔からある伝統的な建築物
を大切にしたいと思つて、候補から外れたのではないかと思つた。
投下当日自分は人が集まる上野公園でいらして「おれはいいかな」と思
つたけれど「機長は天気や音の状態から小倉には投下
するところだ」と、長崎に投下するときには人の声から投下したことを
知り、見つかると大騒ぎになる前に早く投下せよと機長に
長は思つたと思います。それから人生で私はこれから聞くこと
の2つはいいかもしれない貴重な講話だとして、今もまだ原爆症といふ、
放射線や放射能に上つて来い思いをしてる人がいて、被害者は
2千人もいたのだと今勉強中だね、これは心が痛むからと投下した
まのことでいいと改めて実感しました。私は今年まで生きて
いることにまず感謝をして命の大切さも改めて知ることが
出来たけれど（ルールや規則を守り、これを守らないといけない
と思つた）。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/16

原爆先生の特別授業を受講して、原爆のこと
について、とてもよくしることができました。話をき
いていて、原子爆弾はおそろしくて、とても、きけ
んであり、そのひかいについても、あがない物だと、
かんがえさせられました。また、爆発の様子
や、広島での、うじの、ほうたいなど、とても、
くわしく、せいかくに、図などを、つがって、お
しえて「ただ」で、とてもわかりやすかったです。
す。これからの人生、原爆とかで、亡なっ
てしまう人をだまな「ようにして」いて、よしぞう
さんのように、人のために、いかり、うごいて、こう
どうし、助けられるような、大人になりたいと、
とても、つよく、思「ました。また、自分で、
広島や、長崎 について、たくさんが「ていて、
つぎの世代に、つたえて、これからの、世代の人
にも、ためだとおもうように、しなしていきたくと、
おも「ました。きゆうは、ためになる話をたくさん話
してくださり、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今日この話を聞いて、自分の事ばかりでなく、池田さんの話を自分のように話したり、どうさなむにびっくりしました。

話を聞いたばかりでも（かくる）たし、ひんきせつさか
分かりました。一番印象に残っているのは、最後のほうの
原爆資料館へ行った時、父が「思い出」と言っていた
です。やはり当時の事をその子が見るとは思えない、当時
広島にいた人だけが知っていることあると感じます。だから
資料館へ行っては、当時補綴した父から見たら、「美しい」
と思えた人気がありました。印象に残っているのは、池田
さんが、じつと話をしている姿です。自分はさういふ事では出来
ない話法がとれませんでした。でも、未来のため私たちのために
話してくださいました。とても強く心に響きました。広島・原爆有
りについて調べるのがかかると、私自身も、もと来た人の人に
原爆について知ってもらってほしいと思ってきました。今、補綴者の
方たちが減っているなか、今、私には、聞いた事、調べた
ことを未来につなげて、今の生き方を見過みして、当たり前を
当たり前と思える、感謝し生きていきたいです。この講話を
聞いて、命の尊厳や平和についてあらためて考える事ができました。
これから、忘れず生きていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

講話をとおして、命の大切さ、戦争の恐さをあらためて
知ることができました。ぼくはこの講話で分かったこと
あります。それは原爆は人々に主に3つの影響を与えた
ことです。1つ目は熱線で原爆が投下されたときに、地上600
mで表面温度7000℃の球体のまうなものからはなれました。
そのときの地上の温度は3000℃で金鉄がとけるのが1500℃
なので多くの人が体に大きなやけどをあてたり、あとかた
もなくすみになった人が多くいたと思います。

2つ目は衝撃波で多くの人ごとばされたり、物や建物が
あとかたもなくこわされたと思います。

3つ目は放射線で、放射線によって人の健康をがいし
たり、なくなったりして苦しみを与えたと思います。

今日の講話をとおして自分は原爆で生きてくても
生きられなからた人や戦争で亡くなった人たちのため
にも命を大切にしていこうと思いました。そしてもう
原爆があつてから75年たつので新世代として原爆
によって亡くなった人、原爆をうけた人の思いなどぼ
くらの世代からさらにその次(後世まで)の世代まで受けついでい
かなければならないと強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原子爆弾投下都市の条件があったことに驚きました。今まで
は、兵器工場があるところに投下し壊すことが目的だと思っていました。でも
さらに、アメリカは効果を確かめるためにより投下に適した場所を選んでいた
のだとわかりました。もし、天候が悪かったり、エンジンがなくなったらなどの理
由一つで結果がちがっていたらと思うと恐ろしくなりました。さらに、アメリカ軍が
日本を占領した後のことまでも考えていたのだと知り、力の差を感じました。
私は、特別授業を受講して一番心に残った言葉があります。それは、広
島平和資料館に訪れ、模型を見たときの「きれいだ...」という言葉です。
やけどされた手の皮膚、一瞬にして熱線が骨だけになってしまった人、太陽
よりあつい7000℃の地面にいた人、実際には想像もできないくらいの光景が
広がっていたのだと思うと胸が苦しくなりました。それでも、必死に生き
ようとし、手をひっぱたきたときとえ手の皮膚がたたくだけで激痛がはしても
手を離さなかったことを知りました。今回、私は学校で原子爆弾の
ことについて今まで学習してきたけれど、まだまだたくさん知らなかった
ことがあったことに気がさせられました。特に、投下直後の人々の様子・
行動についてたくさんを知りました。学ぶことで、新たな思いや
考えがうまれると思います。だから、私はもっと原子爆弾のことにつ
いて学び、その知識を広めたいです。過去の苦しい出来事から目をそら
けず、過去から未来へつないでいけるような生き方をします。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆についての詳しいお話を聞かせてくださり、

ありがとうございました。

私も、授業などで原爆について調べたりして、

インターネットなどで調べたりは調べたけど、

詳しく知らなかったことを知ることもできて

良かったです。

じつは池田さんの話を聞くことができて、

つらく、思い出したくないような内容にも関わらず

話してくださっていたことが印象的でした。

原爆について詳しい話を聞き、衝撃波の

高さ、真空地帯ができること、爆心直下

の温度なども知ることができて、

改めて恐ろしく、残ったものだと感じました。

聞いた話をもとにして、自分でも

もう少し詳しく調べたりしたいと

思いました。調べたりして、聞いたことから

これからの人生について見直し、未来について

も考えてみようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

自分が原爆先生の特別授業を受講していることを知ってよかったです。自分たちは、学生の方から、戦争のことについて学んでいて、今まで学んできた中で、一番深く学べたと思っています。

自分が一番ビックリしたことは、広島に落ちた、原爆の熱が約 7000°C 、中心部が約 $100万^{\circ}$ という暑さということでした。

太陽でも、 6000°C なのに、 7000° まで行くところが、ビックリしました。広島の人には、この暑さの体験したことなんて想像ができませんでした。原爆は、熱線、衝撃波放射線の3つの被害があり、衝撃波では、原爆が爆発した時と地面にはめかかった衝撃波で2回あったといわれています。広島の人には、本当に、えらい思いをして、乗り越えた人だと思っています。今日は、この2つ以外にも、話を聞いて、本当によかったです。また、島に居ることがあめは、調べたりしたいです。

これからの人生は、自分は、嫌なことでも、ちゃんと最後までやりきるようにしたいです。広島や長崎の人には、した事もできなくて、学生も毎日仕事だったと思います。だから自分は、その人たちのことを考えて、行け、最後までちゃんとやり切ります。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

講話を聞いて、すごく怖いと思っ。たし、"きれいす
ぎる"という言葉が印象に残りました。たすけ
うとしたのに焼けただれた皮膚のせいであつた
すけられはあ。たし、わきの部分がすれて痛いから両
手を前にだして歩いたしと今の自分にと。ては想像
もできない風景だ"と思います。そして、広島市の人口が35
万人いる中で被爆者数は24万人で被爆率は70%、
死者数は14万人で死亡率が40%、約5人に2人が亡
くなる状況にあ。た二とがすごく怖いと思ひまし
た。原爆投下にもな。て起る熱線や衝撃波、
放射線を体にあびることと原爆症と成ること
怖いところだ"と思ひました。広島や長崎への原爆の投
下は突然の出来事、誰もがあ。いつも通りにいつもと
同じ生活を送。っていたときに起。たものだ"と
思ひます。だ。から、二れからの人生は何だ。起
ることか。か。ら。ないし、世界には核兵器を保有し
ている国だ。あるという現実からいつ戦争だ。起。二
つてもあ。か。し。く。ないし原爆が投下されてもあ。か。し。く。ない
ので今ある現状から目を背。む。す。て。は。い。さ。な。い。と。思。ひ。ま。し。た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の講話を通して、改めて原爆の怖さや恐ろしさ
さが分かりました。広島に原爆を落とされたことは
知っていたけど、落とされるまでのことはあまり知らな
かったから、被害状況だけでなく、原爆を投下する条件
などもくわしく理解できました。

当時の被爆者の義三さんは、広島にある当時のことを
再現した人形を見て、「きれい」と一言だけいったとい
う所から、再現できないくらい被爆者の方は辛い思い
をして本当に大変だったことを実感しました。

修学旅行では広島には行けなかったけど、宮崎馬場
をもとにした話がきけて良かったです。

兵隊さんは、自分も辛いと思うけど、倒れている人や助け
を求めている人に対して、自分から助けていくのがいいと
思いました。私も、自分のことだけ優先するんじゃなく
相手の気持ちや第一に考えられる人になりたいし、
思うだけでなく、それをしっかりと行動にうつせるよ
うな人になりたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が印像に残った事は2つあります。1つ目は、実際に兵隊として原爆の落ちたその日、その場所において、救済に関わられた方のお話です。インターネットや本では知る事ができない、原爆が落とされた時の様子や人々の姿を聞いて、すごくしゅうげきを受けてました。特に、7000℃もの熱におおわれた人々は、一瞬にして体の水分が蒸発され炭になると聞いて、今の生活ではありえないな...とぼうぜんしました。2つ目は、原爆を落としたアメリカの様子です。原爆は、一瞬にして多くの人々が亡くなるから、原爆をおとしただけでも悪いな...と思っていたけど、今回の講和で、原爆をおとした後の様子をさっえいしていたということを知って、どうして同じ人間が無様な姿になって苦しんでいるのに、そんな行軍ができたのだらうと不思議に思いました。でも、このように戦争はやめてほしいと諫言が分かっていたはずなのに自分たちの力ではやめられない、だからこんなにも大きな被害が出たんだらうなと思います。毎日、空襲の音を聞きながら生活している人や、命がけで戦場で戦ってくれた兵隊さんたちに、敬意と感謝をもちながら、今平和に暮らせている事は決してあたり前じゃないという事をたくさんの人と共有して、平和な社会のために少しでもこうけんしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の講話を聞いて、一番印象に残ったのは、原爆ドームにかざられてある人形は、被爆された方にと、では、きれいですよということ。私はまた原爆ドームに行けていなくて、もちろん資料とかも見たいけど、行ったら絶対にその人形を見てみたいと思いました。次に、原爆投下の候補になった都市は知っていたけど、なんで4つの候補がはずれたのか分からなくて、今回の講話を受けて、京都の場合、直径6kmくらいで、しかも盆地という落とすのに最適な場所だけど、大切な文化財があり、それを爆破したら、せんりょうするときに、日本人がも、どうらみそうと思、てやめたと知、て、一応、原爆を落とす人もそういうことを考えていたんだなと思いました。小倉の場合は、広島に落とされたあと、長崎に落とされた時、本当は小倉に落とす予定だったけれど、何度飛こうしても失敗してしま、て、3回も失敗してしま、て、その間にくもがでま、てしま、てあきらめたということがあったことを初めて知、て、原爆を落とす側の人にそういうミスがあ、たんだなとひ、くりしました。

これからもどんどん原爆のことを調べていきたいし、講話で聞いたこととかを、家族に話したりしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/

今回の原爆先生の特別授業を受講して、当時の日本兵の視点から原爆が落ちてからのことが分かって、原爆が落ちた瞬間の広島は24万人以上の人の全身が焼けて、水も一瞬で沸騰するほどの高温に耐えきれず死んでしまったり、生き残っても皮膚が焼けただれて痛み続けている人がいて、原爆の恐ろしさが分かりました。

広島に投下された原爆はウランという核物資が使われていて、爆発すると3.12mだったリトルボーイが直径200mまで大きくなって、中心部は100万℃、外部は7000℃の火の玉になり、地上は3000℃まで暑くなっていることから、とても苦しかったらうと思いました。

この講話を受講してから、これからの人生を命を大事にして、生活していきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生のお話を聞いて、2つのことを
知る事ができました。

1つ目は「原爆」についてです。「原爆が落とされる
までの経緯」や、「爆弾の名前の由来」など、
初めて知ったことが多くありました。

2つ目は、「原爆の怖さ」です。原爆投下後の
広島、長崎はまさに地獄のまじりで、「全身に火傷を負い、
断れい」のように人が歩いてた、や、「放射線により、今も
苦しんでいる人がいる、などです。原爆の怖さを
深く知る事ができました。

このように、自分も原爆に巻き込まれる
出来事を次の世代へ伝えていかなければ
思いました。原爆の怖さをもっと多くの
人々に知ってもらい、二度と戦争が起らない
ような平和な世界になることを願っています。

原爆先生、すばらしい講義を本当に
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分への原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、実際に原爆の恐いを経験した人は、自分よりか思っているよりも何倍も辛いんだと思ったし、原爆で多くの方が高範囲で亡くなっているから、とても苦しかったんだろうし、島の月夜の建物も全てなくなってしまう景色を見たんだから、とても現実的ではないかと思っていたんだろうと思いました。他には原爆の威力についても教えてもらって、原爆の表面温度が7000℃もある、中心は約100万℃にもなるし、3000℃の放射線が1〜1.5km先まで届いてくるんだから、太陽のような物が空から広島に降ってきたんだから、とても恐いなと思いました。生活も、昔の人々は普通通りの生活に戻ることができず、ずっと辛い生活をしてきたんだろうし、水なども飲むことができないくらいに怖いなと思ったし、亡くなった人達が川の中に流れていたたり、亡くなった人達の山に火を灯したりしているのを聞いて非害が大きいんだと思いました。原爆病は現在でも悩まされている病で、まだ原爆に関連する悩みが今でもある人々もいると思いました。だからこの講話はとても勉強になったから良かったと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分は、原爆先生の話を聞いて、感涙したこと
がありました。

1つ目は、自分は、原爆直後の話を初めて聞いて、とて
心が重くなりました。被爆した人の苦しみを知って
つらさ。その場の兵隊の人にも、ものすごくつらさを知ると
知ることができました。

2つ目は、京都が原爆をおとす町が知らずさ小したこと。自分は、
京都はこの、3つから世界が知ること、有名な町と知ること
ができました。

3つ目は、原爆をおとされた後のこと、聞かせて、被爆者は
とても、あつ、いたい、思いながらいたと思うと、とても、つらさ
と思うし、がなしかつた、自分は思いました。

今回の話を、聞いて、自分は、これから、話している人が
自分自身、つらさのつらさを感じてあげることが
できるように、今、近くにいる友達や家族を大切に、
いたまら、思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

講和をきいてみて、今までたくさん平和学習をしてきて、原爆についてわかったつもりでした。でも、まだ知らないことが多く、今日の講話でたくさん新しい知識をとり入れることができました。原爆投下の候補になった都市に、京都や横浜などがあるびっくりしました。地上から約600mの所で爆破がおきて、熱線や衝撃波、放射線がおきたというのは、知っていたけど、この3つの被害がどういうものなのか、よくしりませんでした。熱線は、体内の水分を一瞬で蒸発するというのが、とてもおどろきました。また、衝撃波は、建物をこなごなりに、毎秒440mというのが、とてもわかりました。広島では、5人に2人は死亡というのをきいて、ほとんどの人が亡くな、たんだとおもいました。生きのこったとしても、心に傷をおったり、後遺症がのこったりなど、とてもつらいことだ、とおもいました。私は、話をきいて、原爆についても、と知りたくなりました。このようなきかいかがあったから学んだんじゃなくて、大人になっても自主的に原爆について考えたいです。1つ当たり前がおわるかわからないから、こうかのない生き方をしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、講話を聞いて、てくな。た人がたこまいて、助けたくても助けられなかつた人もたこまいたということが分かりました。

太陽の表面温度 6000℃ よりも熱い 7000℃ の原爆が落ちてきて、一瞬で7000の人がてくな。たということが分かりました。

放射線や衝撃波などで今までも苦しい思いをしている人が世の中には、たこまいてるので、戦争がない平和な世界に生まれ、育てまた私たちは、この出来事も忘れず、感謝しながら生活していきたいと思います。私たちは、今、当たり前のように食事をしたり、寝たり、勉強したりすることができるので、当たり前を当たり前と思わず、(日)日も大切にして生活していきたいと思います。戦争のことや家族のことを思い出すだけで苦くなるはずなのに、私たちに話してくたさ。たので、これを無駄にしないように、私たちも伝えていきたいと思います。8月6日、9日に起きた出来事は一生忘れません。戦争を知らない人や、くわしく知らない人にも知ってもらえるように伝えていきたいと思います。また、世界に核兵器をもっている国があるので、決して油断せず、日常に感謝して生活していきたいと思います。生きたくても、生まれなかつた人が大勢いるので、命を大切にして生活したいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は原爆先生の特別授業を受講を通して、もっと平和について考えていかなければいけないと思いました。原爆が投下された時の町の様子や人々の様子を聞いた時は想像するだけでも苦しいのに本当にあった出来事でとても残念で胸を締めつけられる思いになりました。いま、自分たちが当たり前のように学校に行ったり、友達と話しているのもけっして当たり前なことではないのだと分かりました。そして、当たり前に行っている事に感謝しながら生活していけるようにしたいと思いました。特別授業を受講してとても意味があったと思います。分かったことを大切にしていきたいです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

わたしは、広島原爆体験講和を聞いて、一言で言うと、
恐ろしかったんだなと思いました。一番講和を聞いて
心に残った事は、池田義三さんが、原爆資料館に行
た時に、原爆資料館においてある皮の袋とけて、
たれさかという人形を見てこれはいままでと書いた
事です。わたしは、その人形を見た事があって、その人形
を見たんだけど、びっくりするくらい激的なものに
あの人形が怖すこいけがをしていいるという事はぜん
ぜん頭では想像できません。本当にしょうげき
的でした。でも、この広島原爆体験講和を聞いて、
また、同じような事が起きるはいけないなと思
いました。今でも、日本には核兵器はたぶんないと思
うけど、他の国には核兵器があ、と、世界中に
たくさん核兵器があります。なので、いつ落ちても
おかしくない状況なので、これから先、か
りこのような事があ、たと身にしろと生活していき
たいと思いました。そして、しっかり家族や仲間
などを大切にしていきたいなとわたしは思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の講話を受講して、実際の原爆が投下されたときの音がとても迫力があり、びっくりしました。一番印象に残ったことは、原爆に直接当たった人たちは、一瞬にして消え去り、黒いかげのシミだけが残るということです。原爆の外側だけでも7000℃あり、太陽よりも熱くて、人間の骨も無くなったり、原爆で亡くなった人たちのうち、2万人の方々は一瞬にして消え去るほど、原爆は高熱でとても大きいものだということが分かりました。のちに原爆ドームとなる広島県産業奨励館も大きくて、立派な建物だったのに、原爆が投下された後は骨組みのような状態で、とても大きい暴風で、建物なども倒れているから、怖いと改めて感じました。このように原爆は、2度と使えないものだと考えたし、唯一の被爆国として、世界中に未来に教えていけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して原爆の怖さを改めて知りました。

原爆がなぜ広島と長崎に落ちたのが原爆の重さ大さで原爆の名前など、今日の受講で原爆についてたくさんを知ることができました。

僕は被害者の話がとっても印象に残っています。

原爆が落ちた時には両手を前に出してゆくりと歩いてゐる人、うてがただけ落ちてゐる人、

全身を大やけどしてしまつた人など、当時の被害者の話を聞くことが出来、自分にとっても貴重な時間になりました。

今までは知らなかった当時の事、原爆の仕組みなどたくさん知ることができました。

原爆の特別授業をしていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

昨日は、貴重なお話をしてくださりありがとうございました。今までの学習では知らなかった事実を沢山知ることが出来ました。まず、天候によって原爆を落とす都市を決めていたという事から、もし当時の天候が少しでも違えば被害は変わっていたと思うと、本当に恐ろしいと感じました。また、候補に入っていた京都は、人間に重要な文化をこわしてはいけないう。その後のためにも、という思いから原爆を落とす事になかったのを初めて知りました。戦後の事もよく考えられた上で「の原爆だったのだ」と分かりました。投下目標であった小倉から天候の影響で長崎へ移動した事も初めて知りました。広島市の5人に2人は亡くなった事から、原爆の恐ろしさ、絶対にもうあってはならないものだ」とあらためて感じました。私もいつか原爆ドームへ行きたい、さらに多くを学びたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの講話を通して、原爆で亡くなった人、
今もなお、生きている人の心を苦しめた物
だと思いました。

私たちが自身は被爆でもないのに後世に
原爆はつらかった、悲しかったなど伝えても
あまり意味はないと思います。私たちは今年、
原爆資料館に行く予定でしたが、コロナ
ウィルスの影響で白紙になりました。

非常に残念でした。でも、いつかは
必ず行って、原爆の恐ろしさを身に感じた
いです。最近では北朝鮮やアフガニスタ
ンが兵器を所持し、いつ戦争や原爆が起き
てもおかしくありません。こんな心かげたこと
がすぐになくなるように原爆を語ります。
たからこそ、後世に原爆のこと、恐ろしさを
伝えるべきだと思いました。

講話 ありがとうございます



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は講話を聞いておそろしいなと思いました。最初に先生が原爆の音の再現のような感じで声をおして、「バーン」という声でもびっくりしました。でも、実際はそんなものではなく、もっと大きく、おそろしいものなのだと講話を聞いているうちに思ってきました。

僕がいちばん印象に残っているのは義三さんのビデオの所です。実際に原爆の体験をした方の話で、とても胸が苦しくなるような話もありました。思い出したくないことだと思ったり、もう二度と経験したくもないと思ったり。何も知らない僕たちのために話して下さいたことが本当に感謝しないといけないなと思いました。

僕は最初、小倉に原爆が落とされマジになったことや、京都が狙われていたことは全く知らなくて、本当にびっくりしました。原爆が投下されることは天候も関わっていたと知って意外だと思いました。

世界で唯一原爆が投下された国に住んでいる僕たちなので、講話を聞き、学んだことを生かして、これからも伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を受講して、戦争が終わ
りから原爆に4ヶ月行、た人が、「キレイすぎる」
と言ったことにとってもおどろきを感じまし
た。それだけ原爆はおそろしいものだということ
を改めて感じました。今も、いくつかの国が
原爆を所持している状況なこと外にとってもわ
いです。また、ビデオにあ、た、義三二人の
存なしている場面で、ぼくは、戦争をこの目でみ
たわけでもないのに、義三二人が泣いたとこで
もらい泣きしそうになりました。これで、戦争
がどれだけ影響力があ、て人々を悲しくさせ
たか分かる、たし、戦争から70年以上た、た今、
戦争を体験した人の話、それもビデオの中での話
なのに、これを「辛い」ということは、当時戦争
の中で生きてきた人たちの悲しみも、辛さはかり
しれないものだと思いました。授業を聞いて、
もう絶対、戦争はおこしてはいけません。
原爆というものを人々に向けてはいけません
と感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は原爆についての授業をしてくださり、ありがとうございます。これまでも自分で調べたり、講話を聞いてきましたが、実体験をもとに話してくださり、始めて知ることが多く、とても勉強になりました。特に原子爆弾投下都市の条件や、候不補になた都市についての話から、なぜ広島と長崎に投下されたのか分かりました。また、原爆によって起こった熱線、衝撃波、放射線についても、これまではただ言葉を知っているだけだったけれど、たくさんの被害があったことをその3つを含め、理解することができました。

自分は原爆は体験しておらず、見たり、聴いたりすることしかできないですが、これから生きていくうえで自分が生まれた国で起こったことを自分ごととして考えていきます。そして、現在も核兵器が存在する世の中も生きていく身として、世界までとはほぼ不可能ですが、仲間や家族、周りの人が幸せに生活していけるように、できることをやっていたり、自分の言動に責任を持ってこれから生きていこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

先日は、原爆について話をしてくださ
りありがとうございました。とても細かく
話してくださり、とても勉強になりました。
自分が一番印象に残ったのは、
義三さんのビデオで、原爆資料館にある
被爆者の人形は、当時の被爆者と比べて
顔がきれいすぎると語っていることで、
原爆から何十年もたっているのに、原
爆のことを思い出すと涙が出るという
のが印象に残りました。原爆は、自
分たちが思っている以上に恐ろしい
ものだったんだなっと思いました。話を聞く
前は、原爆の恐ろしさがあまり分から
なくて、今までに見てきた資料に書い
てあるのが全てだと思っていました。
でも、話を聞いて、考えが変わりました。
原爆は自分たちが思っている以上に
恐ろしいもので、考えるだけで涙が出
るくらいのもんだということが分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日は、私達に話としてくださるために来ていただき、ありがとうございます。講話を聞く前は、インターネットなどで調べたことしか知らなくて、被災者の方の思いとかを聞いたりするきっかけがありませんでした。実際に講話を聞いて今まで傍で聞いていた原爆と実際の原爆はぜんぜん違って、僕が思っていた原爆は生ぬるか、たんだなと分かりました。原爆で全身やけどをおた人の写真を見たことがある。でも話を聞くと自分が見た写真の人よりひどくて、人の形をしていなくて、そこまで人も変えてしまう原爆というものはほんとに恐ろしくて、原爆が1個落ちるだけで、その場所がまさにじごくのようだと知りました。そして原爆であつくて、川に飛び込んだ人がたくさんいて、川の水量がいつもより蒸発して、少なくなると人がゆでたのようになっていたと聞いて、僕は、その様子を想像することからできなくて、もう想像できないうらいに、ひどい状態だ。たことが分かり、原爆は言葉で表せるくらい生やさしいものではない。かたことを知りました。今、傍にできることは少ないけど、少しでもできることを探して、今はまた何をしたいかが分からない。これを考えて生活していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日は、お忙しい中、中山中学校まで、来てくださって誠にありがとうございます。自分は元々原爆の怖さや恐ろしさも学んでいたもので、ある程度は原爆については知っていると思っていました。しかし、今回先生のお話をうけ、自分が調べた事以上の事実を知り、本当にこの出来事が数十年前この日本で起こったことなのかとうたがったようなことばかりでした。又、実際の音を再現したり、当時の写真や表を用いてくださってとても分かりやすく、深く知ることが出来ました。前半の池田さんの話では、当時の背影や様も頭にうかんできて、話を聞いているだけで、生々しく影色うかんできました。池田義三さんの怒りや苦しみが伝わってきました。後半では原爆の爆震地の係補となった都の話で、原爆の威力を普通では知れないような貴重なことを教えてくださりました。自分は最後、池田さんが原爆の資料館に行って、焼けたたれた人の人形を見た時「こんな姿はいではなかった」と言ったところが深く印象に残りました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、この講話を聞いて自分はまだまだ戦争について知らないなと思いました。被爆した人の話を聞くことなんてめったに出来ないと思うのでとても良い体験になりました。「7000℃の少年」という題名でどのようなことなのかと思っていたけど、後からこの少年とは広島に投下された原爆「リトルボーイ」ということが分かり、とてもすきりしました。長崎に投下された原子爆弾が目標から大きくずれていたことなど、話を聞くと知らないことは分かりました。義三さんの言っていた「全ての人に幸あれ」という言葉はすごく心に残りました。被爆して原爆をうらみ、この世をうらんでもおかしくないと思うのでもの凄く考えさせられました。亡くなった人の分まで強く生きたいと思いました。最後に、コロナ禍であたり池田先生もお忙しい中自分たちのために講話を行っていただき、本当にありがとうございました。この経験を今後の人生にいかしていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、おかげがしい中、遠い所まで来てくださり、ありがとうございました。

今まで、原爆について調べてきたけど、講話を聞いて新しいことを聞けてよかったです。

この原爆は忘れてはいけないことだと思ふし、この先も、伝えていかなければだめだと思ひます。池田真徳先生の話ほど、心に残っています。経験を話すときには、すごく恐怖などを感じました。それは、当時は、怖くて悲惨だったのだと思ひました。

原爆がおとされた時は、すごく、言葉にならないうらい、さんくで、何も残ってない、察がないことが、当時の、原爆のすごさが分かりました。今は、普通の生活で、すごせているのに感謝したいです。でも、平和ではなく、まだ、三サイルとがあるし、平和では、ないと思ふので、自分の生き方を、考えていきたいと思ひました。

遠い所まで、講話をしに来てくださり、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は 大変お忙しい中特別授業をして下さり、
有り難うございました。

受講前、「原爆は恐ろしいもの」という認識が有りまし
た。しかし受講後、原爆、戦争の重さを改めて感
じました。数々の資料で、原爆は日本の終戦を促進
せる為であるとされていますが、結局はアメリカが全世界に
原爆の効果を伝える為だったと知って、悲しみを超えて、怒
りに変わりました。又、今自分が生きていられる事は奇跡です。
この奇跡が有るのなら、当時広島を始めとする原爆投下
候補都市は全て天候不順で、原爆投下中止という事は
あり得る事だったと思います。ですが、あの出来事が無か
たら、原爆、戦争の恐ろしさを知らぬまま再び戦争が
起こり、また一つ被爆国が増えたと思います。だから
こそ、もと原爆、戦争について関心を持って、知る事が
平和に繋がると感じました。

現在 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、予定され
ていました広島原爆資料館での見学は中止となってい
ました。しかし、コロナ禍が終息したら、自ら義三さんの
謀の意味を探りに行きたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、東京から「ちぎ」ちぎ 私たちたちのために
来てくれて ありがとうごさいました。あなたのおかげ
で 76年前 あつたことを しろことか できました。本当に
ありがとうごさいました。話で一番 おどろいたことは、
げんぱくか おちた 音で僕 は 外国人だけと、こんど
めんどうかの 気持ち は よく ちかます 人たちか あんた
るに くらして ちかると、やけどで 3つに 歩けな
い しょうが ありました。今は 学活で は げんぱく について
しろちかから メモを とって また、すくちかから もった
ごまく しろちかから ちかます。自分 は 3つから どうちかか
世界か 平和 ちかかを 考え ちかた。世界か
平和に ちかのは 世界中で 全国に 伸良く してちか
は めんどうも あつちかちか と 僕 は 思 います。僕は
言葉を 聞いて もっと げんぱくの 言葉 について
りたいたつたので、いちか 広島と ちかちか について
もっと 勉強 します。先日の 話し ありがとうごさ
ました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、特別授業をひらいてくださりありがとうございます。ほくは、原爆のことを知ったまででしたが、僕がまだ知らない事があって今回のこうはで僕の心に残った事は、候補になつた都市と衝撃波の速さです。なぜかと言つと候補になつていた都市の中に、京都があつたことです。だけれどアメリカの人達のやさしい心づかいがあつて京都は原爆からのかれました。もう一つは、衝撃波のことです。なぜかといつと音速よりも100m以上も速かつたからです。普通に考へて音速よりも速い物がないと思つたからです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、講話を聞いて聞く前よりも原爆について
の向き合い方が変わりました。話を聞いていると何となく
心にささるものもあり最後の義三さんのビデオでももらい
泣きをしそうなほどにしるべりの辛い感情を共感する
ことができました。

僕も聞く前は被爆した人たちの写真を見ていると気分が
悪くなったり目をそらしてしまったりしていたけど今回のような講
話などによってそんな気持ちよりも目をみらさずこのような
出来事があったという事実を身近において生きていかなければ
いけないという事を思いました。

原爆が落ちてくるのも知らずに普通に生きていた何の罪も
ない人々がたった1つの爆弾によって町と一緒に亡くなったとい
う事を忘れない次の世代に継承していきこのような事件
があったという事を人の心から消えないようにしていくことが
今僕らができる事だと思っています。

今回は、お忙しい中高山市に僕らのためにわざわざ
来てくださりありがとうございました。池田さんの講話を
二本からも忘れないように生きていきたいと思っております。今回は本当に
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、このような授業を伝えてくださり、ありがとうございました。この授業を受けて、自分は今まで原爆のことを調べて、ちゃんと知たつもりでしたが自分の調べがいかにあさかたのかを矢知りました。自分がとくに心にのこったのは前半の話です。今まで資料を見てきたものではわからなかったその場にいる人の体験を聞かせていただき、本当にあった苦しさや生々しさが少しでも伝わってきました。さらに、最後の映像を見て、今まで調べてきた中でも、なかなか見につらいものがありましたが、それを生ぬるいと言われて、自分にはそれ以上のことを言うこともできませんでした。これから自分でやることとして、今回のような話を自分がやることはできませんが、少しでも原爆のことを知り、自分の中で、少しでもおそれないようになりたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この度はお忙しいなか、コロナ禍の中で、わざわざ東京から講和において下さりありがとうございました。胸に刺さるような話もありがとうございました。自分が印象に残ったことはいくつもあります。義三さんはわずか17才で、隊員になり、任務にあっていたと聞き、高校2年でやっていたのかと思うととても考えられませんでした。原爆投下後、周りの被爆した人が、人間に見られなかつたと知り、想像できません。戦争から60年経って、義三さんが当時の様子を語ったビデオを見た際のあの、息がつかまるような喋り方、表情に、記憶から消せないほど悲惨だったんだなと思いました。これらをもまえて、現実から目をそらさず、今ある幸福に感謝して生きていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は、原爆の被害、とんちん響きなどをお話を
講話していただきありがとうございました。

今まで、原爆についての調べ学習をして、体験談も聞いたり
しました。ですが今回の講話を受けて、当時軍に入り、とんちんを
して、とんちんと感じ、また、たにを見えたのかを知ることで
できて、とてもおもしろいと感じる時間になりました。

特に自分の心に残ったのは、戦争が終わり6年以上経って
行った広島平和資料記念館での言葉「きれいな世になる」
その場では、たにとは分かって、被害にあつた人の姿、今の若い
人が見ると、これでも悲惨な状況だと思ってしまう。「きれいな世
になる」と聞いて、とんちんにも原爆の被害にあつた人は見るに絶えたい
姿だ、たのたのと改めて感じました。

やはり、戦争を体験した人にか分かって、その時に感じ
た思いが、建物がどうだったか、とんちん状況で
人が亡くなったか、たに生々しく詳しい情報を知ることが
できてとても良い体験になりました。

これから、とんちんをたにたのたといふことを
しっかりと頭に入れて生活していきたいです。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この度はお忙しいなか、東京から
おいでくださりありがとうございました。
ありがとうございました。

自分はずが原爆先生のはなしをきいて、
今まで想像していたよりも何倍も戦争と
いうものはおそろしいんだと感じまし
た。

自分が今まで知らなかったことをたくさん
知ることができたのでとてもよか
たです。

自分が一番バにのこったことは、
義三さんが平和資料館ではなした「こんなに
きれいになかった」ということなのです。原爆が
投下されたときとてもおそろしかったという
ことがわかってきました。

自分はこれからは過去にこのようなことがあま
りないことをわすれず、に生活し
ていきたいと思いをしました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

わざわざ特別授業を開いてくださりありがとうございます。
うございます。

今回の話を聞いてみて分かったことが二つ
あります。

1つ目は、僕たちが思っている以上に原爆
がとてつもなく強い。てことがわかりました。
広島平和記念資料館に展示されている
物よりも実際にはもっと見苦しくて、残さくな
状況だ、ということがわかりました。

2つ目は、60年ぐらいたっても今も、その状況
を忘れることができないくらいひどいことだ
ということにすごい理解しました。60年も前
のことでそれを忘れることができません。語った
りすると、大人が泣きだしていたので、僕らに
は想像することができないくらいに大変
だということを学びました。

僕はこの講和を忘れることなく、次の世代
の人たちに教えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

先日は特別授業を行なって頂き、ありがとうございました。お話の中の一言一言がすごく心に染みしました。心に残ったのはいくつかありますが、特に心に残ったのは最後に見た池田義三さんのビデオです。初めて被爆者の方が原爆が落とされた当時の事について話しているのを見ました。何十年たっても忘れたくても忘れられないすごく残刻で本物の地獄のような景色で、体験だった事がなみだを浮かべている姿からすごく伝わってきました。それと同時に、今の人と昔の人で同じ年の人でも昔の人はすごく精気が強く今の人にはほないような強さを持っていたと思いました。

また、義三さんが兵隊だったために、被爆し大けがをおっている人を助けたくても助けられなかったり、死体を運ぶ際どんなにつらくても自分達しかいなくてやらなきゃいけなかったそんな状況を体験し、今を生きて話してくれる方は少なくなっています。なので今回の講和の重要性に気づいたし、聞いた話を新聞にまとめ、2年生に伝えていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、おいそがしい中、貴重なお話を聞かせていただきました。本当にありがとうございました。

原爆の話聞いて私は、初めて知ることたくさんあったし、原爆の落ちてくるときの音が、自分が想像していたよりも大きな音で、びっくりましたし、改めて原爆の恐しさを感じました。それに、原爆資料館にある原爆によって、やけどを負ってしまった人々のもけいは、きれいすぎるということを知って、今、生きている人たちが想像するものよりも、もっとひどい状態だったということが分かりました。

この事実をふまえて、私は、原爆のことを今よりもくわしく知っていきたくて、また、原爆のことで苦しんでいる人がいるので、人事としないようにして、生きていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業ありがとうございました。原爆の怖さや恐ろしい
ところをためよく知る事ができました。今の自分の生き方を
見つめる事ができました。印象に残ったのは原爆資料館
の人形をみて「こんなにかいじゃない」と言われた事です。
自分はネットとかで資料館の人形をみてすごく怖かったです。
でもあの人形よりもひどく、恐ろしいと思うと本当にひどい
現実だった事が分かりました。今の自分よりも小さい子供
までつらい思いをしていたんだと思うと本当に怖い。絶対に
自分の身におこりたくはないと思いました。家に帰ってニュース
を見たときにちやうど三ヶ月前に日本海におられたことを知りま
した。今日の話とこのニュースをみて今も安心して暮らしてい
らゆる現実じゃ無いことを実感しました。いつかどこかで今の生
活が壊れてしまうか分からないし、家族や友達と関係が
壊れてしまうかと思うと本当に怖い。もし本当に戦争
がおきたり、原爆や三ヶ月前かどしたとしても水をとりするのは
自分には不可能かもしれないけど今の生活を一日一日大切にしてい
身の守りでいじめや嫌な気持ちをしている仲間を見ることが無いワラスに
したいです。そして原爆のことを人ごとと思わずもっと深く知ってい
たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

元日は、お忙しい中、遠くから講話を申し込みいただき
ありがとうございます。実際に体験された方のお話
で、引き込まれるようなお話でした。なぜ原爆が広島
と長崎に落ちたのか、お話を聞く前は、空襲か何か
だったかと思っていたけど、聞いた後は、3つの条件に
あてはまる場所に落とすことになりました。京都も候
補にあり、そこで、昔から大事に守られてきた文化財があるから、落
とす場所かたと知りました。私も驚いたのは、原爆が落とす
たときの温度や被害です。中心部分が9000℃で、太陽の
6000℃よりも熱いこと、人間の中の水分が蒸発して、
一瞬にしていなくなってしまうことが驚きました。また、
熱線や衝撃波、放射線の被害では、衝撃波を2回受
けたことも、放射線によって、今も原爆症で苦しんでいる
方がいることです。今も苦しんでいる方々には、本当に
心が痛いです。他にも驚いたことはたくさんありますが、
私は今回の講話を聞いて、原爆は本当に恐ろしいものだ
と再確認したし、今も核兵器を所持している国がある。いつ
落とすかもしれない状況にいるので、油断しがちな生活し
たいし、自分の生活を見つめたいです、本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話を聞いて、私は最初夏休み前から少し広島と長崎の原爆について調べていました。でも今回の話で変化したのは自分が想像していたものとは比べ物にならないくらいのもので、言えることです。私はこの講話の中で一番印象に残ったのは、本当に体験した池田義三さんのインタビューの動画です。もう、七十年の間の時がたっているのにしかかれず、今おもいだすだけでなみだが出てしまうと言うところに私は、すごく心がうたれました。そして人間が人間ではないと言う事にも大きな事件だと改めて感じました。今私に何かできるかと家で考えました。せめて、この体験談そして自分の中でもって原爆の様子などを自分から調べていき自分たちの家族などに広げていきたいです。今の世の中が変わっていったとしてたくさんの方が忘れてしまっています。でも、原爆については絶対に忘れてはいけません。その重みとむう一度今回の講話で考えられました。自分事ですが、今年の修学旅行は広島に行く予定で、一体どんな感じなのかすごく楽しみにしていました。ですが、コロナウイルスによりなくなってしまったとしても残念です。でも家族と一緒に本気で行ってみたいと初めて心から思いました。今回こんなすごくきょうなお話をありがとうございます。これからの学習につなげていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日忙しい中来て頂きありがとうございました。私はこの特別授業を受けるまでは、調べただけであり深く調べたりして原爆が落ちてなく土の方がせな、たという事ぐらいしかおぼろしく思っていました。

でも、今回の講話を聞いて、候補にあがっているどの県に落とされるか分からなかつたことや、2回目落とされるという事の恐怖や原爆にあつた人たちの思いなど知らないことをたくさん学ぶことができました。

実際に体験された人の日記を聞いて、調べただけでは分からないことが知ることができました。

広島県の中でも原爆が落ちた爆心地に近ければ近いほど被害は大きく、亡くなった人も多かたと思います。

生きていても助けることのできなかつた命があり苦しみがあつたと思います。

最後に実際に体験された方の話を聞いて、広島にある資料館にあるのは美しいと言っていて、調べて見たときに、怖かつたけど、これよりもひどい状況たつたということがわかりました。

私は今回の講話を聞いて、調べたりして、やはり原爆はおぼろげにないと思っていました。

でも、広島や長崎に原爆が落ちたという事実がある以上、忘れてはならないことだと思つた。

これから調べていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は、わざわざ東京から中山中学校に来て下さり、
ありがとうございます。コロナ禍でいろいろ大変な中、お
忙しい中、関わりまで来ていただき、とても感謝して
います。

原爆先生の池田さんのお話を聞いて、今までの講話、授業、
調べ学習とは全く違うように感じました。今までは、ただ単に
「こんなことがあった」、「こういう被害を受けた」というようにして
事実を知っていくだけのようなものでした。でも、今回の講話は事実
だけでなく、そのときの恐怖、残酷さは絶対さが今までは
なく伝わってきて、聞いていてはいただけなのに、すごく怖くなりました。

池田さんのお父さんの、義三さんの手記を読み上げているときには、
実際には見た人しか分からないような内容で、そのときの状況が
細かく言われていて、その情景を想像すると、全然出来ませ
んでした。また、原子爆弾が落ちた場面では、息とマイクをすく
うように使って落ちたときの音が再現されていて、本当に凄かった
です。体も使って表されていたので、分かりやすかったです。

義三さんの言葉で、「こんなには綺麗ではなかった」という言葉が
今までの一度重く、そのときの悲惨さを物語っていて、これから
忘れられないと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日はわざわざ遠い中、私たちのために講演を
しに来てくれたこと、ありがとうございます。

今まで、たくさん原爆について調べてきましたが、
義三さんの実体験ということもあり、すこしく当時の
様子や人々の辛さが伝わってきました。

「7000人の少年」というタイトルがすこしく印象的で、
心に残っています。太陽が6000℃なので、それを
1000℃も超える原爆は恐ろしいと思います。
最初はタイトルの意味が分からなかったのですが、
話を聞いていくうちに、タイトルの意味について理解
していきました。

今回の講話はとても貴重な機会でした。
教わったことを忘れないで生活していきたいし、
ここからの世代の人にも伝えたいと思います。

ここからの時代、何かあるのかは分かりませ
せん。今回の講話をきっかけに、生活の仕方を
見直していきたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この度は、お忙しい中東京からわざわざ中山中においで下さり、ありがとうございました。

原爆先生のお話を聞いて、胸が苦しくなる場面がたくさんありました。今まで戦争についての調べ学習をたくさんしてきましたが、原爆先生のお話は被爆された方々からも奇跡的に一命を取り留めたお父様池田義三さんの体験談や手記をもとにしていらっしゃるから自分が調べたものよりも生々しくリアルなお話でした。私が特に心に残っているのは、池田義三さんがトラックの荷台に助けを求めている人を乗せようとした時に皮ふがとれてしまったという場面です。想像しただけでぞっとします。

私だったら、失神してしまうと思います。

また、体験談だけでなく、ユラギイは、

千バット大佐のお母さんの名前など豆知識などがあって、聞きやすく、分かりやすい講話でした。

本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、お忙しい中、講話をしてくださりありがとうございました。私は、講話を聞き原爆というものが今まで知っていたものよりもっと恐いものになりました。原爆投下の候補になった都市の中で一番おされた都市が京都で、その理由も人間がすることなのかと思いました。池田義三さんの「こんなきれいじゃない」という言葉が時に心に残っています。私は広島で原爆ドーム、資料館を見たことがあるけど、そのとき、こんなにひどかたんだなと思いました。でも、実際には、そんなレベルではなく私たちの想像をこえる言葉では言いあらわせないほどだったことが分かりました。資料館で、あの言葉が出るほど実際の様子、恐ろしさとはかけはなれていたんだなと思いました。今、私たちが学校にかよひ、友達と会えることは、当たり前ではないと思います。世界には、核を保有している国がまだあるから、私たちは、いまだに危険にさらされています。私たちが今、当時の人々の苦しみを全て、完全に理解することはできないけど、この事実があったことを理解し、生きていかなければいけません。かつての人々の苦しみに比べたら、私たちが、使かたに失敗したぐらいで、逃げたり、投げ出すなんてことは、小さなことだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日はお忙しい中私たちのために講話を聞いてくださりありがとうございました。私は受講するだけでたくさん学ぶことができました。今までにも戦争について調べてきてとても恐いものであり二度と起こしていけないものというのには理解していました。ですが、今回話を聞いていくうちに私の考えはまだあまり私たちが理解したくてもできない部分があることを改めて知ることができました。特に実体験者である義三さんの「こんなにきれいではなかった」の一言や映像の中での涙、伝えたくても言葉にできない様子からそう感じました。世界にはまだ原爆を所持している国がある中で今回の講話を終えた今私たちは原爆は過去のものではなく、今も危機下であることを理解し生きていく必要があると思いました。今回はあざくまのような経験ができました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の講話を聞いて、すごくゾッとしました。被爆して大ヤケドをおった人のことを想像しても、実際に体験した人にとってはこんなものじゃないと言われるんだらうなと思いました。でも、一番ゾッとしたのは大ヤケドをした人の姿ではなく、こんなものを、核兵器をつくりだした人類に対してです。広島と長崎は世界で唯一核兵器を落とされた都市です。でも今この世界には、人類全員なんて余裕でいなくなってしまうくらい核兵器があると言われています。もし今世界大戦が始まったら、この世界は滅びます。だから、自分は世界から戦争をなくしたい!!なんてか。このこと言えたらいいんですけど、自分に何ができるのか、何をすればいいのかが分かりません。だから、自分にできることを調べてやってみようと思いました。未来をつくるのは私たち子どもなので、行動をおこそうと思っています。核兵器のない世界をつくらせたい、今回の講話をきっかけにやそう思いました。この度は、本当にありがとうございました。今回こんな機会を頂いたおかげで、もっと原爆のことについて知ることができたような気がするし、未来について考えることができました。すごく貴重な体験だったと思います。話をしていただけで本当にありがとうございました。これからの未来につなげていくことができるようにかんげります。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

お忙しい中、原爆についての講演 ありがとうございます
ございました。

話を聞く前は、当時の兵隊の行動、気持ちについては
わかりませんでした。でも講演を聴いてからは、当時の人々の様子
町の様子、原爆にあつた人の気持ちをこまかに聞けて、
今まで、あつたことのある話でも、何倍以上も恐しくて、悲惨
なものだと感じました。とくに心にのこっている事は、実際に

原爆後の様子を見た人が、原爆記念館の展示を見て、

「きれいすぎる」と言った言葉が、とても印象に残りました。

写真などで、原爆記念館を見てみても、じゅうぶん怖いのには、

実際に原爆にあつた人からすると、ひどいのがきれいに見えると

いうことは、今の自分たちの暮らしとは、かけはなれていて、

道に死体があるという事は考えにくく事だけど、

人間が人間をそうさせた事をしっかり理解して、

原爆だけでなく、戦争についての話を、しっかり、引き継いで

いく事が大切だと思いました。戦争についての正しい

情報を引き継いでいくためにも、今の時代を生きていく

自分自身が、勇気をだして戦争について知る事が大切

だと分かりました。先日は原爆について教えてくださりありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

おいそがしい中、東京から高山までおいでになって、原爆について長い時間とてもくわしく講話をしていただきありがとうございました。講話をきく前までは広島原爆についてそこそこ知っていると思っていたけど、講話をきいて、知らない事の方がとても多くて、いろいろな事が知れて良かったです。私は池田さんが実際に話しているビデオで、被爆から何十年もたっているのに話しながら涙がでてきていたり、原爆ドームをみて、「きれいすぎる」と生々しい展示物に言っていたりした所が一番心に残りました。原爆は何十年たってもはきりと覚えているほど恐ろしいものだということが分かりました。また、原爆の候補になった都市の話も心に残りました。原爆はただ適当に日本に落ちたのではなく、都市の地形から考えられていたということも初めて知りました。また、原爆の火の球は太陽よりも熱く、被爆した人の様子もとても想像しやまいように話していただき、とても印象に残りました。私はこれぐらいこのようなことにも目をそむけずに、調べたりしていろいろな事を知っていこうと思いました。同じような事が二度と起こらないように、私も私にできることを考えて、動いていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうごう

表

名前は表面に記入してください

私は、広島原爆について、原爆先生にたくさんのお話を聞いてもらって、さらにたくさんのお話を知り、さらに原爆に興味を持ちました。

実際に、原爆がおきたときにその場にいる人のビデオを初めて見ました。驚いたビデオは、原爆が投下された後、60年以上たっているのに、60年たつて後でも、涙が流れてくるほど、人の傷が深いビデオです。ビデオを見ておりました。ビデオは、今の平和学習でなかなか想像していません。たいてい、60年たつて今も涙が流れてくるほどおどろく怖いものだなと思えました。原爆先生の授業では、被爆者の教中死者教員などをパーセントと分けてきてくれて、分かりやすかったです。一人に一人とより分かりやすく教えてくださるより、理解を深めるビデオが生まれました。

● 熱線 ● 衝撃波 ● 放射線 についてもたくさん知りました。

アメリカが考えた、「原爆爆弾投下都市の条件」があるビデオをあらためて知りました。「リトルボーイ」と「ファットマン」の差や予定とあったビデオなどもすごく興味を持ちました。「リトルボーイ」は3.2mの46t「ファットマン」は3mで46tで長さは「リトルボーイ」の方が長いけど「ファットマン」の方が重いと形が違えばとも分かりました。原爆を落とす前には「1000トン爆弾」を落とすといわれて知りました。

原爆先生の授業を受けて、今までよりさらに、深く知れたし、この機会にしっかりといろいろな質問ができた。これから、さらにいろいろな質問をしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、私たち3年生のために、わざわざ東京から来てくれた
 先生がとうとう来ました。実際に体験した方の話を
 聞いて、今まで言われてきたこととは全然違うことがたくさん
 知られることができた。原爆はとてつもない怖ろしいものだ
 と改めて感じました。話を聞いていく中でとてつもない
 怖ろしいことは、太陽よりもあつた温度で1200度の熱
 足がつか一瞬にしてとけてしまったこと、毎秒440m
 の速さで建物が壊れてしまったこと、一番怖ろしい
 こと、驚きました。150mの位置にいた方は助かっ
 たけれど、150mの位置の地下の電話ボックスの中
 にいた方は助かるといって、とてつもない建物の中
 には、命は助かることが分りました。養三さんの
 話で、90年前の話で、思えば、涙が出て来るとい
 います。とてつもない原爆は、1200度の熱を
 1200度の生活が苦しくなってしまうことが分
 りました。広島平和記念館は実際に見に行って体験する
 機会はありませんかと思うけれど、中に入ると声が
 出るといって、被害者には、怖ろしいと思
 います。だからこそ、今は、みんなに原爆
 についてを伝えるには、伝える
 ことが大切です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、このような講話をしてください。ありがとうございます。
ました。自分でわかっていたつもりでしたが、どれだけ
被爆者の方や、広島の方たちが苦しんだのか、どれ
だけの悲惨な状況だったのかを知ることができました。

私が驚いたのは、原子爆弾が爆発したとき、7000℃
もあり、太陽よりも熱いものが落ちてきたということ。
これを受けた方たちは、言葉に言い表せないほど熱く、
痛み、たんぱくと分かりました。皮膚が焼けたため、うで
を持つと体がバラバラにはずれたとき、想像を絶
するものでした。また、5人に2人の方が亡くなったと
き、一瞬にしてたくさんの方の命が奪われ
たんだと分かりました。私が心に残ったのは、義三さん
が原爆記念館で、たまたま一言つぶやいた「きれい
すぎる」という言葉です。この言葉を聞いて、私は胸
が締めつけられました。経験した人には伝わらない
苦しさと悲惨さが、とても伝わってきました。私は、
改めて原爆の恐ろしさと悲惨さを深く知ることができ
ました。状況を知ることができました。本当に、あり
かとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は、普段「学校めんどい」「早く終わらんかな」といいながら
も友達とがと一緒に学校に登校して、休日なんかはのんびり
と過ごしています。今の場合、戦争などがなく平和な毎日だからこ
ろこのような事がいえると思います。しかし、1945年8月6日、9日
で過ごしていた同年代の仲間と大人の人たちが僕たちが
思っているようなおやぢはないと思います。僕たちが原爆の
事について学び始めるとこんなこといって来ないな「怖いよな
よ」と思っおうになりました。学んでいくにつれて、どどどと
恐さを知りました。

池田先生の原爆について話を聞いているだけでも、さんごく
さがよく分かりました。原爆について知ることには、大
事なことだと思います。実際に体験した人たちが恐
いという事を伝えて、「この世から原爆が消えますように」
と願っていると思います。もちろん僕もなつたほうがいい
と思います。

このように体験講和を聞いて思うことが、僕たちも
まだ平和だからといって油断して過ごしていけないよ
うなことをしっかりとおからも思っ生きていきたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、話をきいて一番凄^{すご}いと思ったのはアメリカ軍です。僕は真上から原爆を落としているだけだと思ったら目標地点より約4km、上空9632mから落としてほぼ目標地点に落とすことができていたことが凄^{すご}いと思いました。

原爆を落とすまでに何回も練習していたことからアメリカの本気がうかがえました。他に驚^{おどろ}いたことがありました。それは原爆の衝撃波が音速より秒速100m速い秒速440mだということです。そしてその衝撃波により火暴心せのあたりは気圧が下がり外向から吹き出した空気が逆に吹きこんできたことにより被害が大きくなったことも驚^{おどろ}きました。

他に雲の形についても矢張り驚^{おどろ}かされました。原爆が落とされたあとにできた雲は雲ができない場所まできたので上の方が大きくなっているのが原爆のいかに凄^{すご}いかわかると思いました。最後にみた動画で池田さんが泣く姿をみて思ったすだけでも泣けるくらいのことだと思うけど実際に戦争を体験していないので、戦争について全てのことを知ることには無理だと思っていますでも、少しでも多くのことを知れるようにたくさん調べてたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の話を聞いて、改めて原爆は恐ろしいものだと思えました。自分は今まで原爆の被害を調べたり原爆を落とした周りの人々の生活が描かれて、「はたしのケン」を読んでみて、当時の状況はとんでもなかったのかを勉強したりして、原爆の恐ろしさを実感してきました。

しかし先生の話を聞いていると、「広島は次は小倉だった。しかし爆心地をまらがえして、第3候補の長崎に原爆が落とされた」という初めに知った情報があったり、主人公の池田義三さんと一歩自体に知り、当時と人まじこをして、と人まじ気持ちだったが、まだ分がリテ、話でした。

さらに原爆が落ちるときは、物を使ったり、口で表現して、時々、急に大きな声で表現して、ビシッとするところがあったりと、当時も原爆が落ちるとき、あのよう大きな音、それ以上の音が鳴ったとき、と考えると背筋が凍ります。

改めて自分は、今こうやって平和に安全な生活ができているのは、あたりまえではないと思えます。今後の生活をこの原爆の話を通して、知らない人に広めていきたいと思っていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話を聞いて知らなかつたことがほとんどでびっくりしました。たとえば原爆投下直後の町の様子や人々の姿です。町は一瞬にして何もなくなり人々は全身やけどで手を斜め前に出して歩く姿があってそこから原爆がどのくらい恐ろしい物なのかよく分かりました。原爆先生が大きな声を出して原爆が落ちる瞬間を再現してくれたけど実際は音が鳴ったときにはもう茨々が倒れていたのかなど思いました。当日の前のように死にきた毎日か8時15分の原爆によって絶望に変わってしまうところが戦争の恐ろしさなんだなと思いました。戦争が終つて何年たったけどいつ何が起きるか分からないおどろき断片をしないようにしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕が原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、やはり戦争は、こわいと思いました。広島には、35万人の人がいました。でも原爆が投下されたせいで、死者が14万人までしてしまいました。14万人は広島市の人口の40%です。広島市の40%の人がなくなってしまうとしてもおどろきました。熱線は、約7000℃になっていたそうです。それで人間はとけしほって人間があらなくなるくらいになっていたそうです。僕だったら、見たくないです。でも池田さんは、その人たちが生きているかぎり、なんとかして、助けようとしていて、すごいと思ったし、そのとけしほった人間の話しを聞いて、とてもこわかったです。でも、いらいらなことを覚えることができてよかったです。最後の動画で、池田さんが泣きながらはなして、僕はとても、ルに残りました。あの動画を見て、原爆先生に、つらいそのときは、あれてわかりました。たくさんの方が、悲しい思いをしているし、今でも苦しんでいる人もいます。原爆先生の話しを聞いて、いらいらなことがいじに残りました。これは、日本人として、絶対に忘れてはいけないうことだと思いました。とてもよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日原爆先生の講話を受講し、僕の中での原爆の認識は大きく変えられました。以前までは原爆について調べていても死者数などの被害は単なる数字で、多くの方が亡くなった、という事くらいしか分かりませんでした。いまだ僕はその単なる数字を見て原爆の怖さを知りませんでした。知った気がしました。トラックに乗せようと手をひっぱるとずる。とむける皮膚、歩くたび脇がこすれて痛く手をななめ前に出し歩く人々、もはや人のような、としか形容できない姿に変わってしまった人々、数字では表すことができない話がありました。

また被爆者である池田義三さんが原爆資料館に行き被爆者のマネキンを見て発した「きれいすぎる」という言葉にはとても大きな衝撃を与えられました。

今自分の知る原爆は全て記録や人から聞いた事であり、体験し感じる事の出来ない、全ての人か体験しないままでありたい事です。

実際に被爆された方の貴重な体験を知ることができた事は自分の中で大きな経験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この度は原爆特別授業を行ってくださりありがとうございました。新しい知識、被爆者の声、当時の惨状のどれも日本人として知ることができない事は有り、大変勉強になりました。2つの原爆や、そこに関わった人々についての話では、普通に過ごしているだけでは知る事の出来なかった原爆のしくみ、米軍の計画や尖兵まで事細かに説明で深く理解することが出来ました。小型の太陽の様な球体や、それによって被爆した方が70%、死亡率は40%と高い数値に心を痛めます。熱線、衝撃波によって即死したり生き延びたとしても放射線による原爆症で長年苦しみ続けた方も大勢います。その内の1人である池田さんの話に心打たれました。原爆資料館での「きれいきる」というたった一言にとれたけの思いが伝わっていたのか。それを考えると壮絶だったであろう当時の情景が脳裏をよぎります。しかし、それは想像にすぎず、それこそ、「きれいきる」ものでしょう。惨状を知るのは己の目で見た人だけではない。僕らは本当の惨状を知らず。でも、きれいきるでもいい。たとえそれが生ぬるくても、惨状の一部であったとしても、知る事想像する事はとても大事です。今回はそんな機会を作ってください本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の講話で原爆の恐ろしさについて今までより
くわしく知ることができました。原爆はものすごい
破壊力をもっていて爆心±地周辺では多くの
人が死んでしまいました。中でも、高温の熱線によ
て下にいた人が灰になってしまったということが
が心に残っています。想像しただけでそ
とでも怖いです。でもこれが昔に起きたこ
ろのは事実です。核がない平和な世界に
なしてほしいです。なのでこの事実を多くの
人が知ることが大切だと思います。

今の世代だけでなく次の世代の人にも
原爆を伝えていき、少しでも多くの人から争
争を起さずにはいけないと思、てほしいです
そうすることで争いがなく核がない平和な
世界に近づけると思いました。

なので私はこれから時代を平和に近
づくために過去にあった事実を多くの人に伝
めていきたいと 今回の講話で思いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕が思ったことは、原爆先生の話を聞いて、
資料などを使っていてとても分かりやすく説明していて
すごいと思いました。

今回は原爆の事について説明していて、
思ったことは、自分が想像しているよりも被害が
ひどい状況で、一つの原爆でこんなに被害がなくて
とても悲しくなるし、胸が痛くなって、あまり聞き
たくなくなるけど実際に69年以上前に起こった
原爆が殺下されたことを日本人として目を覚まして
はいけないし、忘れてはいけないと思い、
ここからの時代では原爆で起きたことを他人事
で思わず、今生きているありがたさを大切にして
被爆者の方々の気持ちを継いでいきたいし、
いつどこで原爆が殺下されるかわからないという
危機感も忘れないようにして日本人として
このように生きていきたいです。

そして、もう二度と戦争が起ったり、原爆が
殺下されないことを自分たちからも願いたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/16

原爆先生の講話を聞いて、原爆について以前より知識が深まりました。例えばきのこ空のどき方や原爆の温度についてなどです。これらの話を聞いて改めて原爆は人類には扱うことのできない、きょういの兵器だと考えこぼれました。ですがこの話を聞いても、実際に原爆を体験した義三さんの話はさらに悲惨に感じられました。全身の皮膚が焼けただれ、手を前にして歩いていく人、完全に炭の塊になってしまった人だったものの話を聞いて聞いただけでも「ゾッとする」感覚を覚えました。最後義三さん本人が話されたビデオで先の話を義三さんがした時涙が出てしまっていたので実際はもっと地獄のような様子だったのだらうと思います。また、義三さんが原爆資料館へ行った時、被爆者の人形を見て「きれいな顔」と言ったのは本当に驚きで原爆のきょういは言葉や偶像では言い表すことのできないぐういずじいののだらうと思いました。今回の講話を聞いてこれから先原爆を落とすことには何があっておいけないということがよく分かりました。なので僕はこれから自分の身近な人(家族や友達など)に今回学んだ原爆のきょういを話して原爆について多くの人に知ってもらおうということをしようと思いました。今回の原爆体験講話本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆の特別授業を受けて、今まで勉強してきた事
より内容が深くて心苦しい話が多くありました。

原爆は中世付近だと4000℃くらいになり太陽より
熱いものをつくり、それを戦争で使うのは本当に良
くない事だと改めて強く感じました。そのわけは、その熱
線を浴びるだけで炭のふかになり死ぬことをまぬが
れたとしても体内の水分を失い、水があるところに
飛び込めばその水が熱で蒸発してしまうし、建築物が
積灰のたれかたになってしまふからです。さらに放射線
を浴びると、遺伝子に異常を引き起こしたりなど、
人や物に影響^{影響}を与えるだけでなく人間社会での死
のに大きく傷をつけたと思ひます。今回学べたことも
含め、当時の原爆を体験した事がないから分が少な
いとしてもたくさんあると思ひ、当時の様子、戦
争に対しての悲しみなどの思ひを次の世第^一
でラフなげ^ていくかが今の僕達の課題だと思ひ
るのでこの事について今後考えていけたら良いと
今回の特別授業を受講して考える事ができて良
かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/16

昨日は、広島原爆投下についての話を聞いて、自分を知
 った以上の話を教えてもらいました。広島に原爆が落ち
 た時を、落ちてからの9日間の出来事について知ることができまし
 た。話の中では、原爆が落ちた直後の広島の様子、それからの方
 針について、良くわかり、町を道へ行って、焼け残った所を、助
 けて、求めたり、皮肉な表現から、原爆の恐ろしさ、
 なかに良く伝わって来た。怖い表現が増えたり、
 そんな怖い中救助を、していった事がわかりました。
 広島の様子は、原爆についてや、なぜその果に、
 原爆が落とされたかの事も、わかり、一番おどろいた資
 料は、温度を測った資料で、原爆では、太陽よりも、
 熱い100万℃に達した事がわかりました。熱くあついで、
 人の形がなくなる、影しか残らない事がとても怖かった
 です。僕が、一番心に残った言葉は、平和記念館での
 体験で、おどろくと言葉です。その言葉は、実際に見た事が
 あるから、言える言葉だと思えます。その言葉で、戦争の恐
 ろしさも、わかる言葉だと思えます。死亡率が40%も
 あり、11万人に達して、2万人の命がうばわれていて、戦争は
 もうくり返しては、いけない事だと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆について、広島・長崎について、アメリカ軍について深く知ることができました。8月6日から8月15日・終戦までの広島の状態。今まで自分で調べてきたものをほるかにリウがする話の内容でした。心に残ったもの1つに、原爆が広島や長崎に落とされるまでの経緯です。原子爆弾の実験・観察を行うために、広島へ落とされたのは知っていたけどそこから長崎への投下。広島に落とされる前の6つの原爆投下候補都市について、今まで知らなかった情報、今まで知っていたけどさらに深くおでの情報、たここの知識を得ることができました。最後の約5分間のビデオ映像。今まで見てきた原爆についての資料の中で一番心にきました。僕達がどれだけ原爆について学んでも、実際に体験をされた方々の前では、ただの想像でしかないこと。実際に被爆した方々の気持ちもただの調べて結果の想像に過ぎません。だけれど、原爆で多くの方が亡くなり、今も苦しんでおえる方がいるのは事実です。もう、こんなことが起こらないように、平和を暮らし、生活が続くように、他人任せではなく自分にできることを見つけ、行動していくことが大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して、新たに分かったことがいくつ
かありました。まず、候補になった都市について
です。広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都の
6都市が候補となりました。アメリカは初め、京都
へ原爆を投下しようとしていました。京都の町は、
碁盤の目にな。ていて、平野のため、どれだけ
被害があるのかよくわかる町でした。しかし、
京都には、日本の文化財がたくさんあるため、
アメリカ軍は、投下をしませんでした。これを知って
驚きました。第2候補となっていた小倉には、
原爆は落ちていないと思、ていましたが、パンフ
ォニ爆弾という爆弾を3回も投下してしました。
でも、3回とも失敗して、爆発したときのけむりで
何も見えなくなり、長崎へと投下場所を変えました。
長崎でも何も見えなかったが、1人のアメリカ軍兵士
が一瞬都市が見えたことを報告し、原爆が投下されました。
今回の講話を聞いて、僕は、もっと知識を身に付けたいと思
いました。そして、身近な人にでもいろいろ伝えていま
たいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、特別授業を受ける前までは、「どうしてこんなひどい事をしたんだ」とアメリカに対して少し怒りの気持ちがあったけれど、今回の特別授業を受けておきアメリカにはアメリカなりの考えがあった事が分かった。たし、京都は原爆を落とす第一希望だったけれど、京都には日本の大事な建物がたくさんあるからという理由で京都に原爆は落とさなくて、アメリカに対する考えが少し変わりました。池田さんがお父さんと広島県にある資料館に行った時にお父さんがお父さん、たった一言が私の胸に深く残りました。「きれいすぎる。」私は、池田さんが話の中がスクリーンに映して見せてくれた女の子に衝撃を受けました。尻がやけたたれて、服もホロボロでひどい状況だと思っただけで、お父さんの一言で、本当はもっと見てられないくらい状況だったのかなと思いました。この日本の中には今も原爆の後い障によって苦しんでいる方がいたり、いやな思いをしている方が居ます。だから私は、差別やいじめなどをこれからと未来対にやらず、苦しんでいる方達の命まで楽しく生きていきたいと思っました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の実際の音を聞いたリ、体験した 義三さんの話を聞くことが出来ました。私が一番頭に残っているものは義三さんの実際の話です。私は、広島の実験ドームに行き資料館にも行きました。焼けただれた人の像がたくさんあって、見るだけで本当に辛かったです。でも、義三さんの、「二人はきれいに焼けた」「実際と違いました」という言葉を聞いて、私は資料館にいる時、見るのが怖く感じたし、私まで痛い気持ちになりました。これ以上のものだと知って、鳥肌が立ちました。

広島と長崎に落とされた理由が、小倉や京都に落とされなかった理由も知ることが出来ました。天候が悪いく、町が見えず、落とす場所を度々、私は正直、落とされる時、全ての場所があついても覆われていてほしかったなと思いました。とても強い熱線が、衝撃波で、一瞬で気圧は下り、爆心直下で3000〜4000℃、すぐに焼けつく人、灰のかたまり、骨になる。今の幕張からは考えられないことで改めて原爆は恐ろしいものだと思いました。そして、義三さんは自分のことより人を助けたり、救っている、本当にすごい人だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の講話を聞いて、改めて原爆のことにフーッ
知ることでよかった。一番おどろいたことは、爆心の温度
についてです。表面側でも7000℃と、太陽より熱いものが
自分の600m上にあると考えると、恐ろしいし、改めてこの
原爆の悲惨さを感じました。そして、候補1は、た都甲
についても、第2候補に長崎ではなく小倉があること
におどろきました。アメリカの武力を世界に知らせるために
長崎を選んでひどいと思いましたが、やはり原爆は危険な
ものだと分かりました。あと個人的には、広島と長崎
だったのかを知りたかったので、実際に話を聞くことが
できてよかったです。今回たくさん話を聞いて、改
めて原爆の恐ろしさや悲惨さがよく分かりましたので、
それをまたいろいろな人に伝えていくことが大切だと思
いました。今日みたいに実際の被爆者の口から話を
聞くことができるのも私にちの代で終わってしまう
かもしれないので、それをまた次の代に自分が伝えて
いけるようにしたいです。今回話を聞いたこと以外でも
自分で調べたりして、もっと原爆について学んでいま
たいと思います。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の話を聞いて、言葉や写真では伝えることが
できないくらい原爆は恐ろしいものだと知るに決まりました。
太陽よりも暑い7000℃の原爆で9000人が焼かれて
亡くなり、人々の心を傷つけました。私は、みんな皆悪いことを
をしていたのに、焼かれてしまったのだから原爆に対して
怒りを持ちました。原爆で7000人以上も被害者が出た
ことを信じ、くりしたし、今も病気で悩まされている人がいる
と知って、何か少しでも私たちにできることは何かを考え
てみたいと思いました。今は、広島に行くことができ
ないけれど、高山からでもできることはたくさんある
と思います。なので、考え、できることは実行したいと思
いました。原爆を経験した人に対しての差別
があると聞いて、どんなに話を聞いても想像しきれな
いかもしれないけれど、原爆で苦しんだ人たちの
話をしっかりと聞いて、聞いたことを原爆のことにつ
いて知らない人に伝えていきたいと思いました。
原爆を経験した人への差別をなくしていきたいです。今も新
世界にたくさん爆弾があるので、油断せず、今ある時間を
大切にしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生の特別授業を受講して、自分自身で調査=情報も先、とても分かりやすく有かな=とを得られました。原爆先生の父が、実際戦争時代にいた人なので、当時の状況をありのままに聞くことができました。例えば、人助けのために、人の手をとって持ち上げようとしたら、ひらが溶けてすぐ、落ちていってしまうという話を聞きました。私はとても生き残ったので少し驚きと衝撃を受けました。また、実際に平和記念館に行つたことがあつて、入った瞬間、ひらが溶けて両手をななめ前に出している人形を見て“ゾッ”としました。でも、原爆先生の父は、「そんなにきれいじゃない」とおっしゃつたそうです。私はその言葉を聞いて、あの人が形もひどい状況だったと考えると、とても恐怖でした。私は原爆が投下された時の写真を見て、「なんでこんな写真が撮影できるのだろう？」と疑問に思っていました。それから、アメリカ軍ほどの経路で原爆を投下したのかなども詳しく説明してくれました。なのでとても勉強になりました。最後に、原爆先生の父が話しているビデオを見せられました。話している途中、とてもつらそうだったので、当時の悲惨さが伝わってきました。近年原爆についての継承者が減っていると思うので、今回聞いた話を親などに話したいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私はこの授業を受講して、「7000℃の少年」の義三さんの体験を聞き、とても驚きました。これまで、原爆による被害を数値として知ることとはあつたけど、実際に現地に行き、野や人の様子を知っている人の体験を聞くことでよりリアルに実際にあつたことなつたと思つていました。物の影にいたから助かつたのであつて、もう少しでも原爆がおとされた場所がちがつたり、その時いた場所がちがつたりしていたら生きていなかつたのかもし木ないと思つるととても恐ろしいです。太陽の表面より熱く、一瞬にして人がいなくなつてしまつたり、炭化・白骨化してしまつたり、その後水を求めて川や防火用水の桶に行き、そこで亡なつてしまつたり、今でも放射線による原爆症で苦しんでいるというのを聞き、やっぱり原爆はとてもおそろしい物だと思つていました。なぜ広島と長崎に落されたのか、きのこ雲がどのようにしてできたのかなどのもも知ることができ、とても勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原火暴先生の授業を受講して最初に原爆先生が声で原爆がおろた音をきいてとてもびっくりしました。おろた音を実際にきいた人は自分たちがきいた音よりも大きかったと思います。

初めて知ったこともありました。それは、原爆を落した飛行機がどこに逃げたかという名前です。原爆をおとしたひこうきは中国山地に逃げました。逃げていると中にひこうきがありました。原火暴が爆発したしんどうです。ひこうきの名前エノラ・ゲイは運送のお母さんの名前からとられたそうです。長山崎は、原爆のこうほだったけど第二のこうほは小倉という町でした。その日小倉はくもっていたので晴れている長山崎に落そうとしました。とんでいるあいだに長崎をくもってしまいました。一瞬すまから長山崎の町が見えたのでそこにおとしたそうです。ねんりょうホンフにいじょうがあつたそうです。

私は、言問へいれたない所などを原火暴先生にききりかいることができたのでいい体はれたと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、被爆体験談を聞いて、知分たかたことや、おぼろしいことかたかたありまし。その中でも私が特におぼろしいことは、高さ200mで1000℃の原爆が落ちてきたことになって、人が一瞬で灰になつていくのでした。そのとき、た人の影が残っていたことにもとてもおどろきました。

長崎に落とされた原爆は、地下目標より3kmも目撃されていて、それは、天気が変わったことになって、雲が出てきて、目標の端所に落とされていたことかたことか、そこを小倉に落とすはずだった原爆は、向度かたの失敗によって長崎に変わったことかたことか初めて知りまし。私は、実際には原爆が落とされたのを見たことかたあなわけではないけれど、被爆体験談を聞いて、自分で原爆について調べたところでも、原爆を落とされたときの建物かたかたたかたた町の様子や、全身にやけどをして、助けを求めている人々の様子かたとてもよく伝わりました。

また、原爆についてよく知分た人もたかたたかたたので、少しでも原爆について知分たほしいと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の講話は とても分かりやすく、長い時間でも
集中して聞くことができ、自分の身になること、
初めて知る事実、を深く知ることができました。
義三さんの実体験を聞くことで私達が資料を見るたびに
深くの人が目をそらしていった。しかし、それは写真などで利、
体験をした人にはきらいがあると言っていました。私は
写真もあまり見ていないのですが、目をそらしたくなるほど、と
体験をしていない人は言います。7割 体験した人からすると
体験をしていない人の考えとは異なると思います。
事実を知ることが大切なのは分かっていますが、それは
体験した人の方が正確に知っている。私達は体験していない
からと言って他人事として考えるのは良く、
自分事として考えることで新しく事実を知ることができると思い
ました。
私はまだ広島 原爆ドームなどを見ていません。一度でも
見に行くことで新たに知ることができると思いました。
今回のお話は私の身になることがたくさんありました。
それを伝えていく、それが大事だと思いました。とてもよく知る
ことができてうれしかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生のお話を聞いて、分かったことやおどろいた
事がたくさんありました。また、もっと知りたい事もあり
ました。私は、今まで被爆者の方の後遺症などに
ついて調べてきたけど被害の様子やアメリカが
どんな計画を立てていたのかなどは調ひていません
でした。今回、先生のお話を聞いて原爆の投下都市
の条件や候補になった都市などがどのようなもの
だったのか分かったし、アメリカの計画なども知る
ことができました。他にも、原爆投下に失敗した事、
アメリカが世界にウソを見せつけるために、その事
など、今まで分からなかった事をたくさん聞かせてもらって
本当に素晴らしい体験でした。また、原爆先生のお話
は、実体験者をもとにしてリアルな被害の様子、
その時の人々の様子を聞いてとても胸が苦しく
なりました。けど本当の苦しさは自分が思っているよりも
ずっと苦しかったりっらかったりすると思います。

この授業を聞いて、どうしてお母さんの名前を伊たのか、
何がよかったのかを知りたいこともあったので、これから
たくさん調べて勉強してきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

お話しを聞いて、私が今まで知らなかったことがあったし、実際に体験したこと聞くことができ本当に貴重な話だ、たと思います。原爆が落ちて男女の区別もわからなかった人、すべて焼けて骨だけが残らなかった人、大けがなのに苦しみ助けを求めると皮がずり落ちてしまい助けることができなかった人、一瞬にして消え、座っていた階段には黒いかげんが残りだけが残った人など私の想像を超える苦しみを受け、私が想像できないような被害でした。義三さんは悲しむひまもなく死体を担いで集積場まで運んだし、救護活動をしたのは17歳という若さでこのように経験をしておいて胸がいたくなるような気持ちになりました。「二人は美しくはなかった」との言葉に驚きました。私はお話しを聞いてなんと私は幸せな人だろうと思いました。今ある幸せは果た以前ながらではなく尊いものだと思います。今も世界では核兵器を持っている国があります。この核兵器がどれほど危険なものなのかをしっかりと考えたいと、二度と使われたいことを願っています。テレビでも争いが起きている国を見ますが、戦争は起きてはならないことです。今を生きて私が何をやるべきか、できるのか自分ごととして考えたいことを大切にしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して、おどろいたこと、心に残ったことがあります。まずおどろいたことは、原子爆弾を投下しようとしていた都市は、広島、長崎だけでなくほかの都市でもあります。天候によって候補の中から決めたこと知ってとてもおどろきました。また、アメリカが一番よいと考えていた都市は、盆地であるという考えから京都だったという点もびっくりしました。さらに、京都に投下しようとして3回もし、(2011年)という事もおどろきました。そして、この授業を受講して一番心に残ったし、心が動かされたのは、最後に流された動画です。池田義三さんが涙を流したことから思いを語られていて、戦争は他人ごとではなかったと、とても心が動かされました。また記念館にあるたたき人形をみてきいた、「美しいと思われていた」ということも心に残っています。戦争はこんなに美しくはない」と言われていたし、記念館に入るのが怖かったという言葉から戦争のおそろしさがとてもよく伝わってきました。11月でもしっかり覚えていられたので、ほかの「けつら」のかかべよく伝わってきました。私はもう戦争を体験した方はほとんどいないかと思うので、私たちがしっかりと伝えていき、後世にのこしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、正直、少し気分が憂鬱な18歳の時、あの1945年の話を聞いて、良かったです。原爆雲があの57分、1分18秒の時、それ以外、空気が雲が上から「けた」こと、初めて知りました。原子爆弾の投下準備に入っていた京都がアメリカに強く撃たれていたこと、人としてあの場所は、戦いでおかしいこと、1945年11月10日、投下されたこと、この話を聞いて、もし、京都に原子爆弾が投下されていたら、今の京都は、100%壊滅していたから、その考え方を改めて、原子爆弾は、二枚、三枚と息を吐きました。衝撃波は、毎秒450mで音速は340mだから、おられて者が瞬間に死んで、それを受けた人は、一瞬にして消えてしまった。黒い霧だけが残って、「一瞬にして消える」ということは、おどろきました。広島市の人口は35万人で、被爆者数、24万人、死者数14万人、死亡率が40%で、5人に2人が亡くなっていて、被爆率も70%で、ほとんどの人が被害にあっていて、原爆のおそろしさを改めて感じました。今まで聞いてきた講話より、少しグロテスクだったけど、知らなかったことを知って良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回 原爆について 聞かせてもらって 原爆は身近なもの
なんだと思いました。=これまでと原爆についてイマ-ネットを
使いたがら 調べてきたけれど、やっぱりと=か他人の=と
だ=と 思って 考えて いました。けれど、今回のお話も 色々を
見させてもらって 色々を 知り ました。自分が どれ
だけ 原爆を 甘く 見ていたか、どれほど 目を くらしていた
か という=と 思い ました。=と 分かり ました。

この学習を通して「なぜ広島・長崎に落とされた
のか」、「どのくらい 変わったのか、つらかったのか」、
「原爆の影響」 など 新しい=と 思い ました。池田 義三さん
の 体験 の 話 や 原爆 について の 解説 の ため には
たくさん 知る=と 思い ました。た、た 一発 の 兵器
によ、て た、た さん の 方、が 亡く なら、て、生き 残り、た 方、
には 思い 出、す の 事、が どの くらい、の 体験 を 伝え、
け、られ、毎日 が 恐、ろ、く 不安 だ、った、と 思い、ます。
自分 だ、った、ら、た、え、られ、ません。けれど 思い 出、す の 事、が どの
くらい、に 私、たち の ため、に 伝え、残、し、を 残、して くれ、ました。
今回は 貴重な 体験 を させて いた、た、り、ました。=と 思い、
習、た、と 思い、ます。私、を 忘、れ、て くれ、ない、と、思、い、ます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は何原爆先生の授業を文庫に書いておられるのを知り、
 私は広島や長崎に行きたいと思っていて、その講義を
 通じて知ることがあります。それは当時十七歳の池田義三さん
 原爆に遭った後の「後世に何を伝えるか」ということについて、
 池田さんの話を聞くと、とても大切なことだと思いました。
 と思ったのは、「人に伝えるにはどうしたらいいか」という
 ことは、体験した人しか分からぬのだから。私はその池田さんの
 話を聞いて、とても感銘を受けた。彼は、つらいことばかり
 かかっていた。原爆先生の授業を受けて、急遽B29が村を
 通り抜けた瞬間、とても大きな音で驚かされた。
 さして、ピカ、という音も、とても大きな音で、島を、
 おぼろげに見え、おぼろげと他人事ではない、自分事として
 感じた。先生の授業を受けて、さらに自分事として感じた。
 これは当時の広島や長崎の原爆が、どのような威力を持っていたか、資料
 だけではわからない。太陽が自分の顔に当たると、それは7000℃
 がある。とても熱い。先ず、油断としてはいけません。
 と思った。しかも、その原爆は、一枚一枚の原子爆弾。
 危険なものは、何一つない。先ず、先生の話は、
 自分事として、自分事として、自分事として、生活していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、中山中学校で講話をしてくださり、ありがとうございます。私は、原爆先生のお話の中の、「原爆の音」が、ずっと心に残りました。声だけでなく、心にも恐ろしいのに、実際の現場は、もっと恐ろしいということ想像すると、震えが止まりません。また、今まで平和学習をしてきたが、原子爆弾投下都市の条件、候補になった都市など、知らなかったことをたくさん知ることができ、また原爆について分かりました。と感じました。講話の最後に流れた、池田さんのビデオを見た時、池田さんは震えながら、涙を流しながらお話をされていて、ずっと心打たれました。また、池田さんのお父さまが「原爆ドーム」の中の像を見て、「きれいな姿」と言った、たった一言が、ずっと心に突き刺さりました。池田さんの言葉にもありました。実際の現場は、どう言葉に表せばいいのかわからないほど「恐ろしい現場で、原爆ドームにあるような、きれいな姿が、私たちに伝わってきているのだ」と思うと、被爆者の方には、悔しいと思います。原爆ドームにある親の像の写真を見ただけでなく、恐ろしいので、実際の現場を想像することができません。ですが、このことを私たちの世代で途切れさせてはいけないし、原爆を知らない人たちに伝えていくのが、私たちの役目だと思います。もっと原爆のことを自分のこととして考え、絶対に原爆について知らない人がいない世の中にするために、しっかりと私たちの役目を果たしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで自分達で原子爆弾について調べてきてたけれど、
の事は知っているとだ、ていふけれど、その事はだいたいは気が付かされ
ました。

原爆が落とされる都市は長崎と広島しか無いと思て
いたけど、本当は17ヶ所から選はれて5ヶ所にしぼられて
1.広島 2.長崎 3.小倉 となっていた事を知りかゝりました。

また、被爆者の手紙を読んでいる動画を見たとき、本当
にツラくて苦しい経験もされた人だと理解し、とても心が苦しく
なりました。亡くなった方はとても痛くてツラくて苦しみを耐えら
せて、とてもかわいそうですが、生き残った方も悲惨なこの景を
見て心を痛めていると思います。原爆記念館を見て第一声が
「きれいな景色...」この言葉が私の中では気になった言葉で、助けよう
と思、ては、ば。たら逆に状態を悪化させてしま、てどうすれば
いいのかわからないから精一杯人のために動いた事、本当に尊敬
します。自分だったら、そこから逃げ出してしま、て思、てます。

今、原子爆弾が世界に1万も超える量があ、ていつ戦争が
起きて原爆が投下されるかもしれない中、私は長崎が最後の
原爆が投下された都市であ、てほしいと願、ています。これ以上、
原爆で苦しめられる人が増え、てほしくな、て感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の被爆体験談は軍人という立場の方が実死に体験したことを話して到いて、実体験ということもあいなかなかにキツかった部分もあいますが、その場にはいないし知らないような貴重な体験を聞くことができて感謝しています。原爆のことでも思っていたより細かく話していただいたことも勉強になりました。僕はもし長山崎に落ちた原爆が目標地点に落ちていたら一撃で長山崎が滅亡したというのが一驚きました。体験談の方では女性の足においた虫をナイフで取るというのがとても痛そうで頭から離れませぬ。他にも色々を話していただいたこと恐ろしかったけど新しいことを知ることができたです。なので僕はこの話をしっかりと心にとめておきたいです。生きていくことがあたり前じやないかと思えば、日々大切に生きていきたいです。この話を周りの人に話したり、大人になつてからも、そのころの小僕に原爆のことを伝えていってこの悲劇が忘れられないようにしたいです。そして、もうこんなことが起きないようにするために少しでも力になりたいです。そして争いのない平和な世界をみんなに作りたいです。これからも



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の講話を通して、本当の戦争に近いものを感じることが出来ました。

今までネットや、ニュースなどのマスメディアを通して学習して来ましたが、正直なところあまりイメージ出来ずどうしてもかけはなれた所に戦争というものがありませんでした。

ですが、今回の講話でリアルな言葉でリアルな内容で、とても身近に感じることができ、自分が当時の広島にいたかのように感じました。また、具体的な数値を使ったり、日本側からの視点もあれば、アメリカ側の視点からも見えて、とても新鮮なものを感じることができ、アメリカ軍としての考えや、エイラ・ゲイの由来などこのまま過ぎていたと、知らなかったであらう

ことまで知れたので良かったです。

とにかく講話で様々なものを感じ、リアルに考えることが出来、より考えることが出来ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の講話を聞いて、僕たちが今
生きているこの大地に76年前には、何百万人の方の命
が落とされていたというのに今、とても驚いています。
今、当たり前のように歩くことが出来る人々中、当たり前
のようにして、食事をとっている人がいます。中には、今コロナ
ウイルスという見えない敵に追われていて、歩けない、食
事もできない人もたくさんいます。でもこの原子爆弾のせ
いでほぼ広島-長崎にいた人が歩くのも困難な状
況になっていたことを考えると、今コロナにかかっている
人はどれだけ幸せなことかと思えました。
7000という未知の爆弾をつくることができていた
国が昔からあると考えると恐ろしい。今は、技術が
発展して、もっと危険な爆弾を作っているのも怖い。
もし、今、空から爆弾が落ちてくることがおかしな
状況にしていることがとても恐ろしいことだと思えました。
とても恐ろしい出来事が、僕たちが生まれてもいない
時におきていることを、わざわざ遠くから、きてくださり
本物にありがとうございます。このことを忘れずに生き
ていきたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

この写真は原爆先生のお話をききつけてとてもいい機械になりました。

とくに印象に残っているのが大声でじわっ!!
と...たのめたく、印象的でとても
びっくりしました。

山中の先達たちは、このように話しを、何回
も聞いていたのだけれど、いままで話
してきた人よりもとてもわかりやすかった。
とても勉強になりました。

最後の方には、ビデオを見せていた
について、ありがとうございます。

自分は、この話を聞くまで、知らないこと
があり、衝撃波の速さ、毎秒240mもあり
音速は340m/秒もあり、広島の人口が35万
人でそのうち、24万人の人が被爆して、
14万人の人が亡くなってしまったのも
初聞でしたので、今回ほどいい機械
をもらえたなと思います。

ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を受講して、改めて広島、長崎へ落ちた原子爆弾のおそろしさや怖さを感じ、被害などの規模の大きさを知らることができました。

私が特に印象に残っている場面は最初の方で先生が自分の口で原子爆弾の音を表したところだ。口でもとても迫力があり、驚いたのに実際に聞いたら、もっと迫力があり、怖いなと感じました。それに、実際にあったら熱もあるのだから想像してみると言葉では言い表せられないほどおそろしいということが分かりました。

メモをとる時にはプリントに書いてある図と照らし合わせながら聞くことができたのでより深く考えることができました。原子爆弾の写真やどのくらいから落ちたのか、都市とどのくらいの距離があるのか書いてある図を見て、くわしくいろいろな事を知ることができたのでとても勉強になりました。

今日の講話を含め、平和学習を通していろいろなことを知る事ができたので教わったことを忘れないで、伝えていきたいと思いました。もう一生このようなことにならないような未来にしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

講話を聞いて、改めて原爆の怖さを知るニヒカで"まきました。

原爆の中心温度は100万℃ととても高いし、外周の温度も太陽を

二倍するほどの熱さというニヒカを知って、600mの高さが爆

発したとしても、太陽と距離は全然ちがうし、自分ももし、

この時いたら、熱さで"絶対たまるニヒカで"まけないと思うので、

生き残った人はす"いし、原爆はとて怖いものな"と知りました。

今、平和学習という授業を統合でやっていて、原爆についていろ

んなニヒカを調べてまたし、聞く機会もあったので"知っているニヒ

の方が"99いたろうか"と聞いていたけど、被爆率や、長崎に落下させた

機長の死前など"新しく知ったニヒカの方が"99くて、原爆につ

いての知識が"深まるいい機会になりました。衝撃波の速さは、

音速より速いニヒカ"分かったし、広島にいた5人に2人の方が"

七くたってしまったニヒカ、原爆に当たった都市の中には小倉という

都市が入ったニヒカを知るニヒカで"またり、最後には

三浦由土氏本人が"話している動画を見るニヒカで"まて、実際

にその時にいた人しか"分からず"恐怖や悲しさが"

あんなに"好"と思って、貴重なお話を聞けたニヒカに感謝

して、家族に聞いたニヒカなど"話したいと思ういい

機会になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆のことについて調べてみて、今まで、原爆のことについて知っているようなつもりでいたけど、全然知らないこともたくさんあったし、被爆された方は、とても苦しいおもいをされたんだな、と思いました。その当時のことだけでなく、後の障や、その後の差別など、何年も何年もつらいおもいをされてきたんだな、と思いました。私はこの平和学習で、聞いた、調べた、学んだことを、家族や友達、未来まで、伝えていきたいと思いました。また、差別などは私の生活の身近にもあると思います。そうゆうのをなくしたいと思うし、被爆された方がこんな思いだからだめ、と、いつことも伝えていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受講して、原爆投下後の広島で消火活動や救助活動をしていただいた方の体験談は初めて聞いて、表現とか描写がとてもリアルで生々しかったです。原爆資料館の再現人形を「きれいすぎる」とおっしゃっていて実際に見たことがあり、見てられないくらい恐ろしかったのにこれよりもひどいという聞いて、想像できないくらいおそろしかったなと思いました。原爆は7000℃で太陽よりもあつく、それが地上600mのところ爆発したのは初めて知りました。また、爆心地にいた方々は骨も残らないくらい一瞬にして灰になったと聞いて驚きました。当時の広島市の人口の70%が被爆し、40%が亡くなっていて、無差別に命をうばっていく原爆は恐ろしいと思いました。

原爆は8月15日広島にいた人の命を一瞬にしてうばって、今は戦争はないから原爆はおとされないうけれど、災害などでいつ命の危険があるかわからないし、家族や当たり前の日常を失うかわからないので、一日一日を大切にしたり、家族や友達を大切に生活していきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

・広島に投下された爆弾「リトルボーン」。広島では、被爆者12万人、死者14万人

だった。広島人の40%が死した。リトルボーン…全長3.12m、重約4t。

・原爆投下都市の条件 ①直径5kmを超える。②平野である。③空襲がなかった。

・原爆の熱線。

→太陽は6000℃

地上から5.600m上。直径200m、表面7000℃、中心100万℃

地上の温度3000℃

・原爆の衝撃波。

速さ毎秒400m。(音速は、340m/s)

・爆心地

爆心地は真空地帯。上昇気流が発生し、雲が、だんだん上へ上へ、こいく。空には、キノコ雲が起き。

・感想

原爆の怖さを知る事ができた。原爆での火傷や、病气、こんな事は、

もう、起してほしくないことだと思ふ。次の世代には、知ってもらいたい

被害だを感じた。

原爆の性質が、よく分かった。温度や、衝撃波の速さなどを知り、

恐ろしいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して、知らないこと知りました。学校中、家で調べた時は、できていなかったことを調べておぼろげなことがあり、自分は知っていたと思、たけどまだまだ知らないことがあると分かりました。

私は、広島が長崎に落とされた理由は、ないと思、ていました。たゞ、条件があり落ちていて、も、とこわいと思、ていました。7000℃の少年の話を知り、人々の様子を言、っていたけど、自分は、想像で、な、て、

自分で想像で、な、り、く、ら、い、大、変、だ、つ、た、し、多、く、の、人、が、亡、く、な、て、い、た、人、だ、な、と、思、い、ま、し、た。広島市の人口の5人に2人ほど亡くな、て、い、て、

1瞬にして、そんなにも人が死んでい、て、原爆爆撃は、す、ご、い、ち、を、も、つ、て、い、る、こ、と、が、わ、か、り、ま、し、た。原爆ドームは、も、ち、も、ち、広島県産業技術館と呼、ば、れ、て、い、て、月、に、め、て、し、て、い、ま、し、た。今、で、も、苦、し、い、人、が、い、て、放射線のおそろし、さ、が、わ、か、り、て、い、ま、し、た。でも、わ、か、ら、な、い、で、す。

私は、これから、原爆について調、べ、る、時、に、た、だ、調、べ、て、終、わ、り、な、ら、な、い、と、思、い、ま、し、た。ここから、な、ら、な、い、と、思、い、ま、し、た。今、油、断、り、で、生、活、し、て、い、ま、し、た。世界には、た、だ、核、実、験、機、が、あ、り、自、分、が、住、ん、で、い、る、場、所、に、お、と、こ、ろ、か、も、し、な、ら、な、い、と、思、い、ま、し、た。

た、か、ら、し、ら、ば、原、爆、に、つ、い、て、知、り、た、い、い、と、思、い、ま、し、た。そ、し、て、平、和、な、未、来、に、す、る、た、め、に、今、の、自、分、に、て、ま、る、こ、と、を、考、え、て、い、ま、し、た、い、い、と、思、い、ま、し、た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の講話を受けて、原爆はやっぱり怖いと改めて思いました。

原爆のことについて今まで自分「調」っていたけど、さらに詳しいことも知ることができました。原爆が爆破した直下の広島県教育博物館では、鉄骨などが向かい出しになり外に人たちは熱線にさらし一瞬にしてなくなったことも知りとても恐ろしくなりました。また、近くなかなかたとしても放射線、衝撃波により病気がかかると建物が崩壊し亡くなるとはたかく人いけなことが分かりました。それによって、広島市の人口が35万人に対し、その40%の14万人がなくなりました。1回の原爆でこれほど多くの人がなくなるとして原爆が怖いです。

今各地では紛争や戦争などの争いがおこっている国語や社会、そして今回の授業を通して、核爆研などまた多くの国が併存している、その世界ではまた平和な生活はできないと思っています。今までの戦争などで亡くなった人々の悲しみを考えれば、これからは原爆などによって死なないでいきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の講話をきくまでにはまじな形で
平和学習として原爆について広島、長崎はどの
よりになっていました、たのめは知ってました。でもいまま
知っていたことよりも悲惨なことが色んな人に起
きていたことをこの講話で知りました。またたくさん
の方が亡れた、理由は1つでなく、いろいろな苦しみ
の中で14万人もの人が亡れたと思つと改めて原爆
は恐いものだ、たことがよく分かりました。そんな中
で一番に亡れたのは、地田義三さんの原爆の被
害女性の姿のマネキンへの一言でした。「きれいなまゝ」この
言葉を聞いて本物を見た人は何十年たってもその姿が
頭には、きりと残っているのはそれほどにひどい景色だ、た
んだと思ひました。マネキンの写真を見たとき私はとても
こわがたけど被爆の方は、と恐い物を見たとい
うことは本当に私達では分らない感じだ、たんだと思ひます。
今、世界には原爆をもった国があります。この先人が
残つないできた思いを世界でた、た1つの被爆国に
生きる私達はしちるん世界中に伝えることが平和への1歩
だと思ひます。原爆先生たくさんの学びをありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の約100分の間の話としても頭に残るような心に伝わる話でした。

広島、長崎の原爆の講話は2回目です。やはり今まで学習してきても、まだまだ知らないような単語や語が出てきました。爆弾が落ちた時の表現も口で聞いていたと思いますが聞いたことのない人でもわかるリアルな音でした。落ちた時の音が耳の奥まで大きくビクッしました。実際は、お木の何百倍も大きい音だと考えると、何んと言ったらいいかわからないくらいすごいです。怖いですが、ワトルボーンやソットマンの写真を見たとき、さらに恐怖心が増えました。3m. 4m. もあるような物が、地上 9632m から落ちてくると考えると怖いのです。何にしても、やはり怖いという言葉しか出てきません。今の僕の怖いという気持ちは、当時の人の $\frac{1}{100}$ くらいがもしかもしれません。今まで学習してきましたが、熱線の熱さをとってもなめていました。太陽の表面温度は6000℃ですが、その温度を大幅に超える7000℃のものが、ただ600m上にあると考えたとき、熱さを感じるのではなく、耳と熱がたてしやう。この文を書いている時、話を聞いているときには、やはり「怖い」、この2文字しか出てきません。

胸が苦しいです。最後のあのビデオ。この出来事からもう70年以上たっていますが、振り返ると、その時誰もが泣くと思います。原爆で家族、友達などおぼろげにわが身に近づいたと思います。そのつらい中でも生き抜いたのはすごいと思います。身はまだ広島、長崎の原爆について、やと半分くらい知れたと思います。まだまだ知らないことがたくさんあるので、もっと学習したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の事を夏休みみから色々言周べてみて、自分は原爆によって苦しんでいる人が今もいるということを知り、原爆が投下されて、もう何年もたっているのに、現在でも原爆によって苦しんでいる人がいると知り、原爆がどれほど恐ろしい物なのがよく分かりました。

そして、資料を見してみると、広島市の人口35万人のうち、24万人の方たちが被爆し、亡くなった方たちは14万人と被爆した方も亡くなってしまった方たちも、とても多いと感じました。

そして、原子爆弾のリトルボーイやファットマンを見してみると、500kgくらいかと思っていたけれど、見るとリトルボーイは約4トン、ファットマンは4.6トンと、思った以上に重たくて、びっくりしました。

そして原爆は爆発すると中は100万℃くらいで、外は7000℃くらいと当たっただけで、残りもないと思いました。

これからも平和について考えていきたいです。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆講話を聞いて、やっぱり原子爆弾は、とても恐ろしいということが分かった。これで絶対に世界で原子爆弾が使われないようにしたいと強く思いました。

僕は、身までたくさん講話を聞いてきたけれど、今回の話は、実際にあったリアルな話でびっくりするような話もあったのでとても興味をもつことができました。原子爆弾の投下についてとても詳しく説明してくれたのでとても原爆のことについて知ることができました。今回は、こんなにすてきな講話を聞かしてくれて、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

講話を聞いて自分が思っている以上に広島や長崎が悲惨な事になったかが分かりました。

くとは思えない姿になっていた。聞いて、それほどまで原爆が恐ろしい物なんだと感じました。原爆は太陽よりも熱い熱線を放っていた。という事がすごく恐ろしいです。

火傷だけでなく放射線による後遺症で苦しんでいる人が今でもいる。という事が分かりました。今現在でも核爆弾を持つ。という国がたくさんあります。広島や長崎で被爆された方は恐怖でいっぱいだと思います。

また戦争が起きる可能性は少なくはないと思います。戦争が起きない事をこれからも強くお祈りしています。

最後映像で見た池田義三さんの言葉がとても悲しかったです。今原爆ドームには被爆された方々の写真などがたくさんあると思います。

胸が苦しくなるようなこともあると思うけれど、一度でもいいので原爆ドームに行って実際の写真を見てみたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この話を聞いて、原爆を二度と使
てはいけなし、核を使ってもダメだし、今
のコロナウィルスも同じように、今もういを
る。ていて見た目は全く違うけれど、死
者や感染者という面では、同じだと思
います。

そして、原爆先生の飛行機のエンジンから、
「カッ」という所が、とても音が大きくて
ビックリしましたが、実際には、もっと、大き
な音で、もっと怖くて、もっと驚いたと思
います。

いまの人たちは、この日本を平和な
と思いきっています。そして、この日本は、
今、色々な事件やさきなど、決して平和と
は、言えないし、国交問題、テロ、さきとれを
とって決して平和とは言えません。

だから、私たちは、このことをよくおさ
まえて、平和というべきだと思いましたが、
貴重な体験が聞けてよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/16

僕は特別授業を聞いて思ったのがまた原爆のことを少ししか知れていな...と思いました。その中でも僕は、原爆によるおけどのこと、...体のことが一番印象に残りました。今までの調べ学習などから熱線によるおけどぐらいの皮がはがれうでをななめにしていたことは知っていました。が、義三さんの体験を聞いてよりその被害の生々しさが伝わってきたし、亡くなった方を火葬するときの兵隊さんたちの見たものを想像するとおそろし...し、鳥はたが立ちました。また、原子爆弾の投下の候補だった京都が五はんの目でわかりやすく軍からおされて...たが、重要な文化財だったことで投下をまぬがれたことや、エノラ・ゲイが大佐の母の名前だったこと、長崎に投下されたファットマンがもともと小倉に投下されるはずだったが、ミスで長崎に落とすしかなかったこと、ファットマンを乗せていたボックスカーが燃料ポンプにいじょうがあったことなんて知りませんでした。今回多くのことを学ぶことができましたがこれだけではな...と思うので、僕ももと原爆のことを知ることができるよう、ネットやテレビなど...る...るな所介ら知りた...です。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の講話を聞いて、原爆と言うものは、

すごく怖いものだと思いました。

理由は、広島の人口に対して、被爆者数は、24万人

です。その中でも死者数は、14万人という

多い人数です。これは、人口に対して40%を示して

います。なので原爆は、一生心に残るものだと思っ

ました。広島に投下された原爆は、「リトルボーイ」

と言うもので、長さが3.12m、重さ約4tで、すごく

重たい原爆です。しかもこんな重たいものを9692m

の高さから落としました。その時の人口は、大変な

思いや、苦しい思いをして建物が崩壊されたり

たくさんの方が亡くなっていました。なので、世の中には

こういう思いをしている人がいるからその人たちの

気持ちも考えて生活していきたいです。

今は、あたり前の様に食べ物があって住む家があること

は、昔の人たちにとってあたり前ではなかったと思います。

なので、今日は、人々に関わっているのがあたり前だと

思わないように、感謝して、これからの人生をおくって

いきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を授業を受講して、原爆の恐ろしさを改めて知る事ができました。

原爆の力を聞いた時に爆発したときの表面音度を太陽と比較して太陽より熱いことを知った時に驚きました。

一番印象に残っているのが、先生が原爆が落ちた時の音を再現されたときに人の前振れもなくやられたので驚いたし想像よりも大きくてびっくりしました。

けれど、実際に被爆された方をもっと大きい音に加えて、熱による痛みや衝撃波の速さで大きな苦痛を感じたということも考えるととても辛い気持ちになりました。

今でも世界中にも何百個以上の原子爆弾を所持していて、これからもいつこのようなことが起きるか分からないので無くさないといけない心から思いました。お話を聞かせていただきありがとうございました。

これからも平和について考えずにはいたいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾というものの
恐ろしさを改めて知りま
した。今まで、今回も、原子
爆弾の講話を聞いたことは
あったけれど、今回の講話は、小説
に基づいた話だった。いつも
とは違うものだったし、実際に被爆
を体験された方のリアルな声や心の中が
みえた。これも貴重な経験になりました。
今、日本は、ロシアや中国をい
かに攻められてもおかしくないし、今で
も戦争か紛争が続いている国々が多い。
平和とはいいません。現在、この世の中
にある核兵器が全て起動すれば、地球が
かわるということもあります。国と国との
良い関係を築っていくことができれば、
国どうしの争いも減っていくのでは
ないかと思いました。平和に存じてい
たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は広島と長崎に落とされたけど、本当は広島と小倉を何度も失敗
を重ねて最終的に長崎に落とすことになって初めて知りました。もし、その時に
小倉に原爆が落とされていたら、もっと被害が大きかったのかなかもしれ
ないと思うし、今とは違う未来になっていたのかなかもしれないと思うと
原爆の威力や被害はとてつもないと改めて感じました。

原爆先生のお父様が、ビデオメッセージで声が震えている時や
涙を流している時があり、何十年経っても鮮明に覚えている
ぐらい、自分たちが知っている原爆の被害よりも何倍も大きい
被害を見られこんだなと感じました。当時の兵隊さんは、亡くなった
遺体を運ぶの、火を消したりするなどでして、自分たちから、その
現状から逃げていたと思うから、兵隊さん達にもすごく辛い思いを
されたと思うし、とてつもない力を持っているんだなと思いました。

今回の講義を聞かせてくれた、原爆は一瞬にして何万人もの人を
殺してしまうと共に、長い年月がたってから家族や知り合いなどが亡な
た人々に悲しみを与え、原爆症に今も苦しんでいる人々を出したと
絶対に使われるべきでない兵器だと改めて感じました。今も
世界には何十億人の核兵器があるけど、それを使うことには、
早く世界の国々から戦争をなくして、広島や長崎のような被害
は二度を出してほしくないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話しを聞いて、学校でも、原子爆弾の
ことについて調べている人だけとよりくわ
しく原爆のことについて知りることができまし
た。たとえば、原爆が落ちてきたときに、
近くににいる人は、太陽の表面温度よりも高い温
度で焼け死んでしまうなど、原爆が落ちた時
の人のようすだけでなく、原子爆弾の
こともくわしく教えてくれて、自分が思っ
ていた以上にこわいということが分かり
ました。あと、原爆が落ちてきたときにいた
人の話も聞いて、当時の出来事を話してい
る時に、泣いている場面があってそれほど、
こわい想いをしたんだと感じました。

このような話を聞いて、僕はこ
のような出来事が二回もあってはならな
いとあらためて思いました。今でも、世界で
かくを持っている国があるから、これから
油断をせずに生活していつか、かくは世界
にあっては、ならない物だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、学年の活動で、平和学習をしていて、原爆景について調べていました。それで他の人達より少しは知っている気になっていたけれど、義三さんが被爆者の像を見て「きれいすぎる」と言ったことに衝撃を受けました。というのも、自分もインターネットを通じて被爆者の像を見たことがあって、それを見たときに広島ではこんなひどい事が起きていたのかと驚愕したからです。しかしそれを見て「きれいすぎる」と言ったという事は、当時はこの想像を超える状況となっていて、それは体験していない僕達には想像もできないものかと思われたからです。

今の日本は戦争をしていませんが、今も世界では戦争があちこちで起きているし、コロナ禍の中で平和とは呼べないかもしれない人が、いつか平和な世界となるために、自分達にできることをしていけたらなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕も、最後に見た動画が一番心に残りました。

被爆者は何十年も前のものでも、当時の、怖さ、悲しさ、

悔しさも言葉に出すと、涙が出てくるので、その当時の

ことを覚えていることが一番心にこぼりました。

他にも、原爆の落下音を聞いたことも

心に残りました。

渡瀬の場所で複数回、鳴りまわって

近くに落ちた音が聞こえて、かなり大きな音が落ちて、

驚きました。でも、実際はあの音の何倍も耳が痛く感じ

ていて鳴りまわって、爆風が熱さが伝わり、

おぼろげに、本当に原爆は簡単に多くの人々の命を

奪ってしまふのだと改めて思いました。

今回の講和を聞いて

改めて、戦争は怖いものだし、悲しみも

最悪なものだと思つた。

人の命の大切さを実感して、家族や友達ほど

身近な人と平和に暮らさせてほしいと

感謝して、過ごしていきたいと思っています。

思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回のお話を聞いて、これまで調べていたことをさらに詳しく知ることができました。特に印象に残ったことは3つあります。1つ目は、原爆投下候補になっていた都市の中で1番狙われていたのが京都だった、ということです。もし、京都に原爆が落とされていたら、今もある文化財が無くなって私たちの生活が少し違うものになっていたかもしれません。2つ目は、原爆にラジオソニテ¹という爆風などの記録を撮るものが取っつけられていたことです。この情報は、今まで見た記事や聞いた話では出てこなかったもので、初めて知って驚きました。3つ目は、原爆が爆発したときの7000℃が一瞬にして炭になってしまうほど²ということです。これは、本で1度目にしたことがあったけど、改めて聞いて、きっと爆発音が聞こえた直後に何が起きたのか分からなくなってしまう人もいたんじゃないかな、と思いました。色々なことを聞いたけど、やっぱり核兵器は本当に地球上から無くすべきだ³と思いましたし、この話をもっとたくさんの人に広めたい⁴と思いました。まずは家族など身近な人からでも、聞いて驚いたこと、大事だ⁵と思ったことを広めていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、この講話を聞いて、自分で調べたときよりもより原爆が投下された当時のことがよく分かりました。この講話を聞く前は、原爆は怖いもの、恐ろしいものという風に考えていました。でもそんな簡単な言葉で片づけてはいけなかったと思います。私がこの講話で初めて知った事実はたくさんあります。一つは、原爆は広島、長崎以外の都市にも落とされる危険があったこと。原爆のおごころ世界に示すために広大な平野が候補になっていたことを知り、日本は爆弾の実験として使われたような感じがして、それによってたくさん人の命が奪われたことがとても悲しかった。二つ目は、原爆の被害のこと。原爆の表面温度は太陽の表面温度よりも高いことにびっくりしました。また、熱線と真上から直接あびた人は一瞬で消えてしまったということを知り、恐ろしさがよく分かりました。最後に被爆者の方のビデオを見ました。原爆資料館を訪れたときに人形を見て「きれいなさる」とおっしゃっていたことが、いろは人形に残っています。私はその人形の写真を見たとき、悔しかったし、どんな被害を与えたのが分かりました。でも、その言葉を聞いてから人形で表現していたようなきれいな状態ではなく、その当時は被爆者には分からず、地獄のような状態だったんだなと思いました。私たちが見て、学習して怖いと思ったよりも、戦争はもっと恐ろしく、たくさんの方が辛い思いをしていたのだと思いました。私はこれから、戦争の事実を伝えていき、たくさんの方に伝えてほしいなと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/16

私は今回、原爆についての受講を聞きました。

私は今まで原爆について勉強してききましたが、

初めて聞いたお話もたくさんあってとても勉強

になりました。今回のお話で主人公とされて

いた池田義三さんは、17歳という若い年で

第2班の班長として他の兵隊の人をひたひたして

ずいぶんだと思えます。原爆が落ちた現場では、

もう人では無い人を助けようとして、助けたくても助け

られないそんな苦しくて悲しい思いを、ずっとずっと

いてなんとも言えない気持ちになりました。私は

今まで少し戦争を軽く見ていた事が多々ありま

した。今回私が強く思ったことは、戦争は絶対に

軽く見ていけないという事です。戦争があったら

年間で本当にたくさんの方が亡くなりました。

今でも戦争がおこっている所、原爆を所持

している国がたくさんあります。もう原爆で

亡くなる人がいないように、戦争が無くなる

ように私はもっとこれから勉強をしていきたく

と思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は被爆体験講話を受講して自分の知らないことがたくさんあったし、戦争に関わっていた人の思いを大切にしてくださいと思えました。

私は原爆の候補地、た京都が候補から外された理由に特に驚きました。

なぜならアメリカ軍が1200年の歴史を壊さないようにと考慮していたからです。

日本の事を考えているアメリカはすごいなと思えました。

他にも原爆の3つの力に驚きました。原子爆弾の表面温度が太陽より高くて7000℃で中心が100万℃と聞いてびっくりしました。

音声や画像で原爆の悲しさが改めてわかりました。

私がこれから生きていく中で最後に見たビデオの池田さんの語る思いや他の被爆者の思いを大切にしていきたいと思えます。

原爆が二度と起ってほしくないという思いがあり、私もその思いを自分自身再確認することができました。

そして、池田さんの言う「周りの人に何もできなかった」と涙ながらに後悔し語る姿がありました。私はその姿を見て、自分たちには仲間がいて助け合えることができると思えました。すこく小さなことでも「ありがとう」などバカあつたかくなるようにあつたか「言葉が足りた」と思ったし、優しく接したんです。自分に二度と原爆を起らないようにするということは何もできないと思うけれど毎日小さなことでもがんばって、周りを豊かにしたいと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の約100分間の広島・長崎被爆講話を聞き、

夏休み前の学校や夏休み中など、いろいろなところで時間を見つけて

本やインターネットなどを使い、原爆のことを調べてきたけれど、

原爆先生の話を聞くと、自分がいままで調べてきて分かった広島・

長崎の原爆被害より、おそろしい物だったことが分かりました。

原爆の被害にあった人たちが全体に焼け焦げたことには、自分で

調べて分かっていったけれど、うでや足を少し引っぱたりするだけで、

ただ皮膚の皮がはがれ落ちていくほどの重症な焼け焦げたということ

は分かっていなかった。原爆先生の話しで、自分がいままで思っていた

原爆のいよ外よ外もはる外高く、人への被害が大きく、自分が

いままで思っていた原爆よりおそろしいものだったということを知りました。

最後に約5分間の短い動画を見ました。5分間の短い動画の中には

原爆先生の話しの中の主人公「池田義三さん」が当時の原爆の被害を

約5分間語り、途中で泣いてしまっていたので、広島・長崎の

原爆の被害は、何十年たっても忘れられないほど大きな被害だった

ということを知ることができました。

原爆のことはまだまだ知っていないことがたくさんあるので、

時間を見つけて、本やインターネットなどを使って自分の知らないことをくわしく

調べていけるようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原子爆弾について知らないことがたくさんあることをあらためて特別授業を受講して感じました。原子爆弾投下都市の条件は3つあり、その条件に適している都市が6つもあったこと、その中で1番おさめられた都市が広島ではなく、京都だったこと、文化財があることやアメリカ軍が日本人の感情にはりよして、結果として京都には原子爆弾が落とされず、広島と長崎に落ちてきたこと、広島は候補で1番になったがアメリカ軍が力を見せつけるために2番の小倉ではなく、原子爆弾が1発落ちてただけで壊滅してしまう長崎が投下場所に選ばれたこと、当時の人々がラジオゾンデがパラシュートから落ちてきたことから、原子爆弾もパラシュートで落ちてきたのだと思っていたことなど話を聞いてみると私が知らなかったことがたくさんあり、それに加え、池田義三さんが実際に体験したことの言葉を聞いてみると、今の自分たちにはいくら調べたとしても本当の意味は理解することはできてきな...と思いました。数々の言葉の中で、原爆記念館の展示物の見て、池田さんが言った「きらいすぎる」という言葉、その言葉が自分の中で一番心に残り、私には見るにたえない展示物以上に悲惨なことがあったという事実を知り、心から今の平和な生活に感謝し、もう二度このような事実がつからぬことのないように、心の底から願って、求めていきたいと思うようになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、講話を聞いて今まで調べて出てきたものしか
知ることができていなかったのので、講話でもっとくわしく、正し
い情報を知ることができて良かったです。原爆投下後の
被爆者がどのように歩いていたのかを実際に前に立っ
て、やって見せてくださったリ、写真や地図を出して
説明して下さったり、音声を使って説明して下さったり
と、本当に分かりやすかったです。広島で原爆で亡くなっ
た方は14万人で、死亡率は約40%（5人に2人）と細かい
数字であらわされていたので改めて原爆による被害
の大きさ、おそろしさが分かりました。今回の講話で「原爆
による被害は「おそろしい」「怖い」「痛そう」など」という言
葉ではかたがけられない、かたがけてはいけないなと思
いました。また、原爆について知らないことはたくさんあ
ると思います。自分には関係無い、もう終わったことだと思
いやす、もっと深く知ってみたいのです。今まで自分が学
習したこと、今回の講話で新しく学習できたことを
今後の学習につなげて、まだ知ることのできていない
正しい情報を学習して、まとめていけるようにして
いきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分はこの学習が始まる前まではあまり、
この広島原爆について全く興味がなかった
でもこの学習が始まり、原爆先生の講話
を聞いてみたら、自分で調べるうちに、広島
原爆に興味が出てきた感じが
しました。

この学習で見えたことは原爆というものはおそ
ろいな、ということを知ることが、どのような爆弾
で落とされたのか、どのような被害があったのか、
被爆者数、死者数がどれくらいあったのかと
いろいろなことを知ることができました。

このようにこの学習を通して、自分が住んでいることか
ら、これから自分などのように生活していくのか。

それは、「いつ原爆が落とされてもおかしくはない。それか
ら広島原爆の被爆者のもととは全く関係ないと思うので
はた、常に、死と向き合おう」ということを耳に
残し、これから生きていきたいと思います。そして、
このように自分がなりたいと思う死にたい。

相物語を聞かせて頂きありがとうございました。